

令和7年度 山形県観光審議会

日 時 令和7年11月25日（火）14:00～16:00

場 所 山形県建設会館 1階大会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 意見交換

(1) 令和6年度山形県観光者数調査の結果について

(2) おもてなし山形県観光計画の進捗状況について

(3) 今後の観光振興施策の展開について

(4) 観光財源について

(5) その他

4 閉 会

山形県観光審議会委員名簿

(五十音順・敬称略)

(任期：令和6年4月1日～)

区分	氏名	役職名	備考
会長	本 保 芳 明	(一財)アジア太平洋観光交流センター 理事長	
会長代理	平 井 康 博	(公社)山形県観光物産協会 会長	
委員	安 部 里 美	大平温泉 滝見屋 若女将	
	新 井 貴 之	東日本旅客鉄道(株)東北本部 マーケティング部長	
	遠 藤 勲	(株)上杉コーポレーション 代表取締役社長	
	後 藤 麻 衣	(有)ふもとや 専務	
	柴 田 薫	赤倉温泉 湯の原 女将	欠席
	高 澤 由 美	山形大学学術研究院 准教授	
	竹 直 也	(株)LABEL LINK 代表取締役社長	
	森 戸 香 奈 子	(株)リクルートじゃらんリサーチセンター 主席研究員	
	山 口 敦 史	(株)DMC天童温泉 代表取締役社長	
	山 科 沙 織	The Hidden Japan合同会社 代表	

区分	氏名	役職名	備考
県	黒田あゆ美	観光文化スポーツ部長	
	丸子尚	観光文化スポーツ部次長	
	永沢康弘	観光文化スポーツ部観光交流拡大課長	
	茂木直子	観光文化スポーツ部イン・アウトバウンド推進課長	
	中村雪子	観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課長	
	鈴木敦	観光文化スポーツ部スポーツ振興課長	
	奥井千明	総務部税政課長	
	鹿野賢哉	みらい企画創造部多文化共生・国際交流推進課長	
	鈴木達也	みらい企画創造部総合交通政策課長	代理 交通政策主査 阿部友也
	後藤忠史	環境エネルギー部水大気環境課長	
	木内真一	環境エネルギー部みどり自然課長	
	杉原貴幸	産業労働部産業創造振興課長	
	管毅	産業労働部県産品・貿易振興課長	
	楨英毅	農林水産部農産物販路開拓・輸出推進課長	代理 課長補佐 五十嵐和子
	菅原英治	県土整備部県土利用政策課長	代理 課長補佐 吉田桂司
	高橋和明	県土整備部道路整備課長	
	高橋甚悦	県土整備部道路保全課長	
	本間拓也	県土整備部空港港湾課長	代理 課長補佐 松永睦
	鏡裕之	教育局教育政策課長	欠席
	倉嶋円	村山総合支庁産業経済部地域産業経済課観光振興室長	
	八矢一博	最上総合支庁産業経済部地域産業経済課観光振興室長	
	太田暁子	置賜総合支庁産業経済部地域産業経済課観光振興室長	
	金内美津恵	庄内総合支庁産業経済部地域産業経済課観光振興室長	

令和7年度 山形県観光審議会 席次表

令和7年11月25日(火)
山形県建設会館 大会議室

		本保会長			
報道席	安部委員				平井委員
	新井委員				竹委員
	遠藤委員				森戸委員
	後藤委員				山口委員
	柴田委員				山科委員
	高澤委員				
	県民文化芸術振興課長	イン・アウトバウンド推進課長	観光文化スポーツ部次長	観光文化スポーツ部長	観光交流拡大課長
	スポーツ振興課長	税政課長	多文化共生・国際交流推進課長	総合交通政策課長	水大気環境課長
	産業創造振興課長	県産品・貿易振興課長	農産物販路開拓・輸出推進課長	県土利用政策課長	みどり自然課長
	空港港湾課長		村山総合支庁観光振興室長	最上総合支庁観光振興室長	道路整備課長
関係者/随行者席					
				置賜総合支庁観光振興室長	庄内総合支庁観光振興室長
入口				入口	

令和 6 年度主要観光地における観光客入込状況について

- 1 調査期間 令和 6 年 4 月 ～ 令和 7 年 3 月
 2 対象観光地 358 箇所
 3 観光者数 4,128 万 9 千人（対令和 5 年度比 6.8% の増、対令和元年度 8.9% の減）

令和 6 年度は、7 月 25 日からの大雨により最上・庄内地域を中心に大きな影響を受けたものの、J R 東日本と連携した「山形県春の観光キャンペーン」や大雨被害からの復興を図るための「冬こそやまがた 最上・庄内泊まって応援キャンペーン」等の展開に加え、インバウンドの本県受入延人数が 2 年連続で過去最高となったことなどにより、前年度と比較し、約 262 万人（6.8%）の増加となった。

(1) 地域別観光者数

① 令和 5 年度比

(単位：千人)

	令和 6 年度	令和 5 年度	対 5 年度増減	対 5 年度増減率 (%)
村山地域	21,095.0	18,330.6	2,764.4	15.1%
最上地域	2,000.6	2,042.8	△42.2	△2.1%
置賜地域	7,869.6	7,640.5	229.1	3.0%
庄内地域	10,324.5	10,650.1	△325.6	△3.1%
合 計	41,289.7	38,664.0	2,625.7	6.8%

② 令和元年度比

(単位：千人)

	令和 6 年度	令和元年度	対元年度増減	対元年度増減率 (%)
村山地域	21,095.0	20,605.1	489.9	2.4%
最上地域	2,000.6	2,523.8	△523.2	△20.7%
置賜地域	7,869.6	9,186.5	△1,316.9	△14.3%
庄内地域	10,324.5	12,996.3	△2,671.8	△20.6%
合 計	41,289.7	45,311.7	△4,022.0	△8.9%

(2) 県内・県外別観光者数

① 令和 5 年度比

(単位：千人)

	令和 6 年度	令和 5 年度	対 5 年度増減	対 5 年度増減率 (%)
県内客	23,387.2	22,150.2	1,237.0	5.6%
県外客	17,902.5	16,513.8	1,388.7	8.4%
合 計	41,289.7	38,664.0	2,625.7	6.8%

③ 令和元年度比

(単位：千人)

	令和 6 年度	令和元年度	対元年度増減	対元年度増減率 (%)
県内客	23,387.2	25,601.2	△2,214.0	△8.6%
県外客	17,902.5	19,710.5	△1,808.0	△9.2%
合 計	41,289.7	45,311.7	△4,022.0	△8.9%

令和 6 年 度

山 形 県 観 光 者 数 調 査

令和 7 年 10 月

山形県観光文化スポーツ部

は し が き

令和6年度の県内主要観光地における観光者数は、約4,128万9千人となり、令和5年度と比較して約262万人増、率にして106.8%となりました。

これは、7月25日から大雨により最上・庄内地域を中心に大きな影響を受けたものの、JR東日本と連携した「山形県春の観光キャンペーン」や大雨被害からの復興を図るための「冬こそやまがた 最上・庄内泊まって応援キャンペーン」等の展開に加え、インバウンドの本県受入延人数が2年連続で過去最高となったことなどが観光者数の回復に寄与したものと考えられます。

令和6年9月には観光庁が行う「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」事業のモデル観光地として、本県全域が選定され、更なるインバウンド需要の取り込みを進めています。

令和7年度は、本県でさくらんぼや西洋なしなどの果樹の苗木が導入されてから150年の記念すべき節目の年、「やまがたフルーツ150周年」として、県産フルーツの魅力発信や果樹産地の活性化、さらには、関係人口や交流人口の拡大にもつながるよう、部局横断で取組みを展開しているところです。

県としましては、引き続き、県民の皆様、事業者の皆様、市町村と一緒に交流人口の拡大と地域経済の活性化に向けた取組みを進め、「観光立県山形」の確立を目指してまいります。

結びに、本調査が本県観光振興の基礎資料として御活用いただけることを願うとともに、調査に御協力いただきました市町村及び関係機関の方々に深く感謝申し上げます。

令和7年10月

山形県観光文化スポーツ部

目 次

I	調査の要領	1
II	調査結果の概要	3
III	令和6年度山形県観光者数調査結果統計表	1 3
	第1表	観光地類型別、県内・県外別及び月別観光者数 1 4
	第2表	年度別観光者数（令和2年度～令和6年度） 1 5
	第3表	市町村別観光者数 1 6
	第4表	観光地類型別・地域別観光者数 1 7
	第5表	年度別観光者数動向 1 8
	第6表	観光地類型別観光者の動向 1 9
	第7表	祭り・イベントの入込状況 2 0
IV	観光入込客統計に関する共通基準に基づく調査の概要	2 1
V	参考資料一覧	2 5
	参考資料1	観光者数別観光地一覧（5万人以上） 2 6
	参考資料2	主たる観光地別観光者数 2 7
	参考資料3	調査対象観光地 2 9
	参考資料4	宿泊旅行統計調査（令和6年1月～12月）の概要 3 3
	参考資料5	令和6年外国人旅行者県内受入実績調査の結果 3 5

I 調 査 の 要 領

1 調査の目的

県内主要観光地における観光客入込状況を調査し、県、市町村及び関係機関における県内観光動向を把握するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の方法

調査箇所が所在する市町村は、観光者数を合理的な方法により把握し、調査結果を県の各総合支庁あてに提出する。各総合支庁は、市町村から提出された調査結果を集計し、県観光交流拡大課へ報告する。

市町村の調査主管課は観光を担当する課とし、当該市町村の観光協会等の協力を得るものとする。県の主管課は観光交流拡大課とする。

3 調査の内容

観光地点ごと、月別に県内・県外観光者等の延数（人日）を調査する。

なお、観光者数は各観光地点の入込みの積上げとし、重複の調整は行わない。

4 調査の箇所

本調査における調査対象箇所は全県で 358 箇所とし、観光地を「山岳観光地」、「温泉観光地」、「スキー場」、「海水浴場」、「名所・旧跡観光地」、「観光道路等」、「道の駅」、「その他の観光地」の 8 つに分類して調査する。

また、祭り・イベントの入込状況についても、本調査と併せて調査する。

5 利用上の注意

四捨五入のため、内訳の合計や差が合計と一致しない場合がある。

説明文、本文の中では、百人単位で四捨五入を行い、千人単位で表記している。

Ⅱ 調 査 結 果 の 概 要

1 観光者数の全般的な傾向

＝国内外からの観光需要の高まりにより 4,128 万人台＝

令和 6 年度における本県の観光者数は、約 4,128 万 9 千人となり、令和 5 年度と比較して約 262 万人増、率にして 106.8%となった。

本県の観光者数は、調査を開始した昭和 38 年度以降、空港や高速道路等のインフラ整備の進展に伴い、概ね順調な伸びを示し、平成 4 年度には初めて 4,000 万人を超えた。その後は、景気の低迷等の影響を受け減少傾向が続いたが、平成 16 年度に「おいしい山形」デスティネーションキャンペーンを展開し、約 4,226 万 9 千人と当時の最高を記録した。それ以降は、再び減少傾向が続くなか、平成 21 年度は「天地人」、「おくりびと」効果とともに、高速道路の ETC 割引の効果もあり、4,100 万人を超えた。

平成 23 年度は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、交通機関の一部途絶や、出控え、東京電力福島第一原子力発電所事故の風評被害による大きな影響により、3,500 万人台と大きく減少したものの、その後の官民一体となった誘客の取組みにより観光者数は回復し、平成 26 年度には、山形デスティネーションキャンペーン（山形 DC）の展開をはじめ、東北六魂祭、国際青年会議所アジア太平洋会議（JCI ASPAC）山形大会及び全国育樹祭などの取組みにより、初めて 4,500 万人を超え、その後も山形 DC の効果を活かした春や冬の「山形日和。」観光キャンペーンの展開や、県内各地の雪まつり・イベント等の新たな開催、「美食・美酒県 山形」の積極的な情報発信を進めてきた。

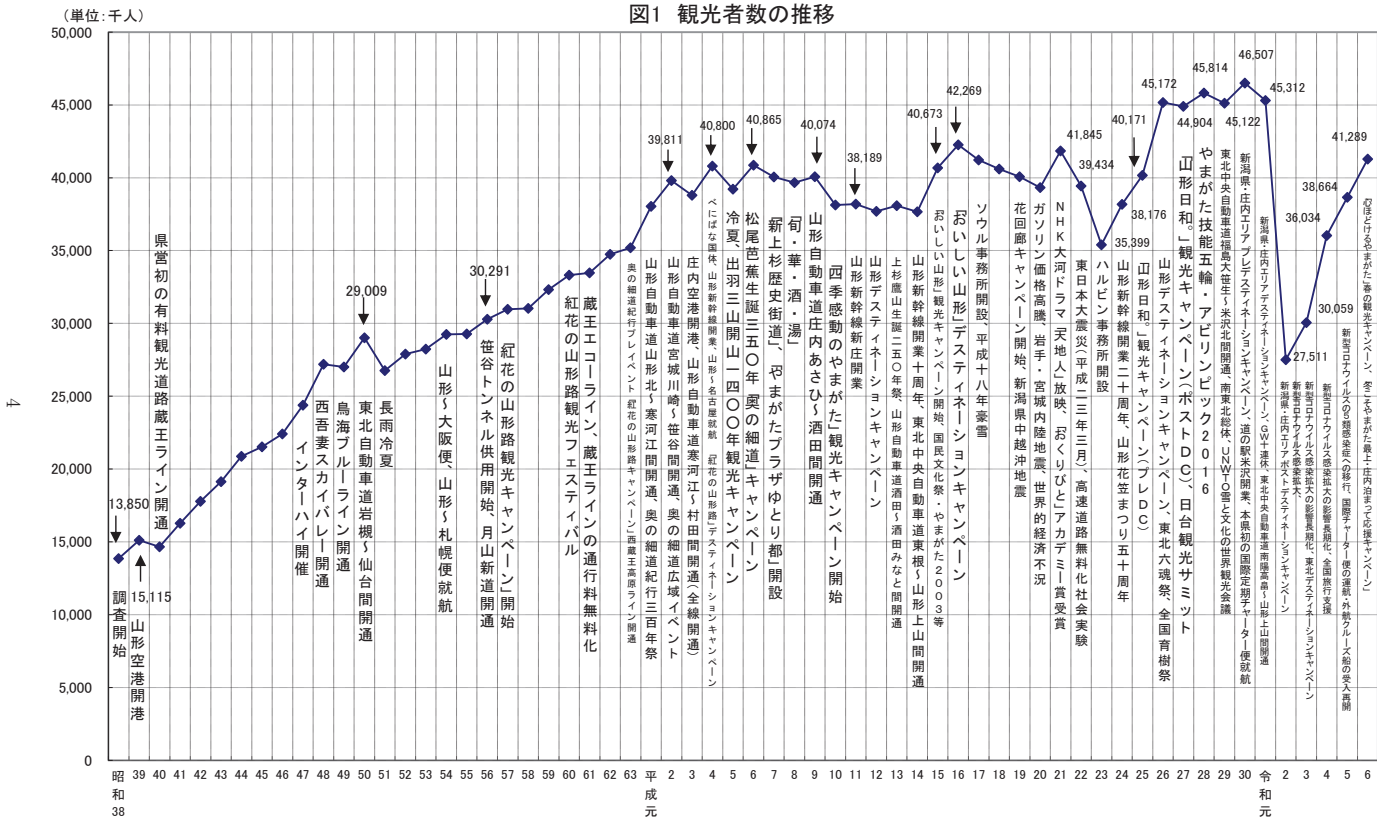
しかしながら、国内における新型コロナウイルスの感染拡大により、令和 2 年度は 2,700 万人台と大幅な減少となった。その後も、新型コロナウイルスの影響が長引く中で、令和 3 年度から令和 4 年度には、東北デスティネーションキャンペーン（東北 DC）、南東北春の観光キャンペーン（ポスト DC）の展開、県内での宿泊・日帰り旅行の割引キャンペーンや「全国旅行支援～やまがた旅割キャンペーン～」等の観光需要喚起策の展開により、観光復活に向けた誘客の促進に取り組み、令和 4 年度は 3,600 万人台まで回復した。

令和 6 年度は、7 月 25 日から的大雨により最上・庄内地域を中心に大きな影響を受けたものの、JR 東日本と連携した「山形県春の観光キャンペーン」や大雨被害からの復興を図るための「冬こそやまがた 最上・庄内泊まって応援キャンペーン」等の展開に加え、インバウンドの本県受入延人数が 2 年連続で過去最高となったことなどにより、前年度と比較し、約 262 万人（6.8%）の増加となった。

（単位：千人）

区分	令和 6 年度	令和 5 年度	対 5 年度増減率	対 5 年度増減
観光者数	41,289.7	38,664.0	6.8%	2,625.7

図1 観光者数の推移



2 県内・県外別観光者数の動向

＝県外客が大きく増加＝

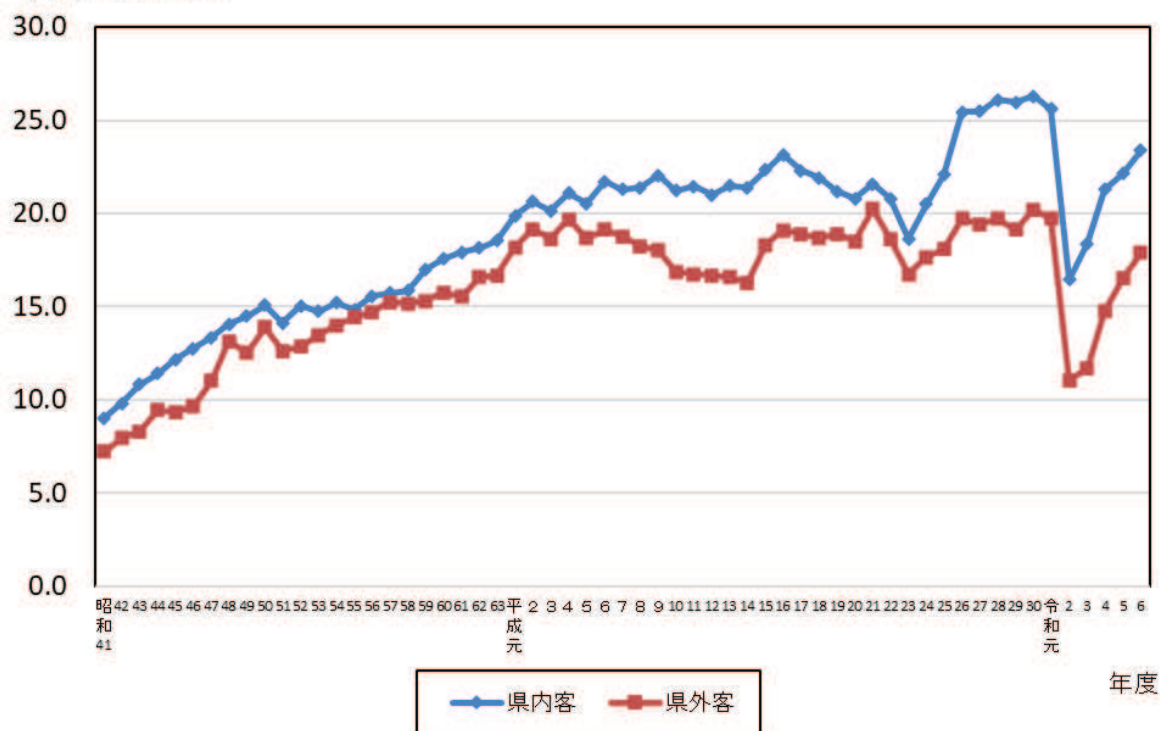
観光者を県内客・県外客別にみると、県内客は約 2,338 万人（対 5 年度 5.6%（約 123 万 7 千人）増、構成比 56.6%）、県外客は約 1,790 万 2 千人（対 5 年度 8.4%（約 138 万 8 千人）増、構成比 43.4%）となっている。

（単位：千人）

区分		令和 6 年度	令和 5 年度	対 5 年度増減率	対 5 年度増減
観光者数		41,289.7	38,664.0	6.8%	2,625.7
内 訳	県内客	23,387.2	22,150.2	5.6%	1,237.0
	県外客	17,902.5	16,513.8	8.4%	1,388.7

図2 県内・県外別観光者数動向

（単位：百万人）



3 月別観光者数の動向

＝特に4月が大きく増加＝

月別観光者数構成比は、8月が11.4%と最も高く、以下、10月10.7%、5月9.9%となっている。四半期別では、7～9月が28.6%を占め、夏季の割合が高い。

各月の対5年度増減について、4月～6月は春の観光キャンペーンなどにより大きく増加した。また、3月はスキー場の入込みが増えたことなどにより増加した。7～8月は大雨により、2月は大雪等による新幹線の運休等により減少した。

(単位：千人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
観光者数	3,367.2	4,069.5	3,975.3	3,339.1	4,708.5	3,751.0
構成比	8.2%	9.9%	9.6%	8.1%	11.4%	9.1%
対5年度増減率	21.1%	6.1%	13.5%	-4.7%	-0.4%	7.0%

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観光者数	4,398.3	3,533.2	2,405.3	2,873.9	2,291.0	2,577.3
構成比	10.7%	8.6%	5.8%	7.0%	5.5%	6.2%
対5年度増減率	10.8%	10.8%	2.6%	10.1%	-3.6%	11.3%

図3 四半期別観光者数の割合

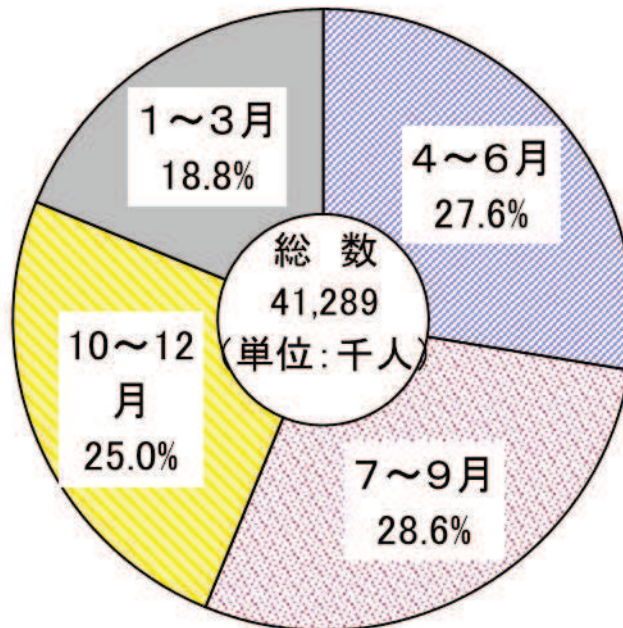


図4 月別観光者数

(単位: 百万人)

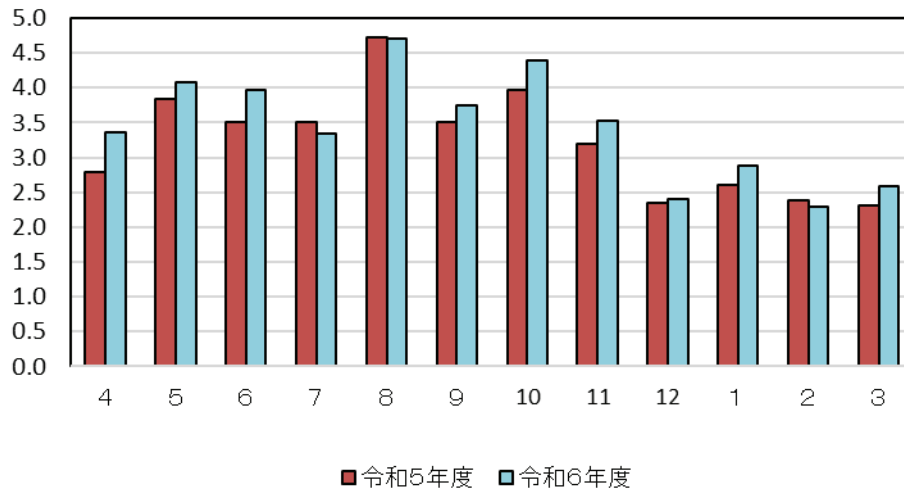
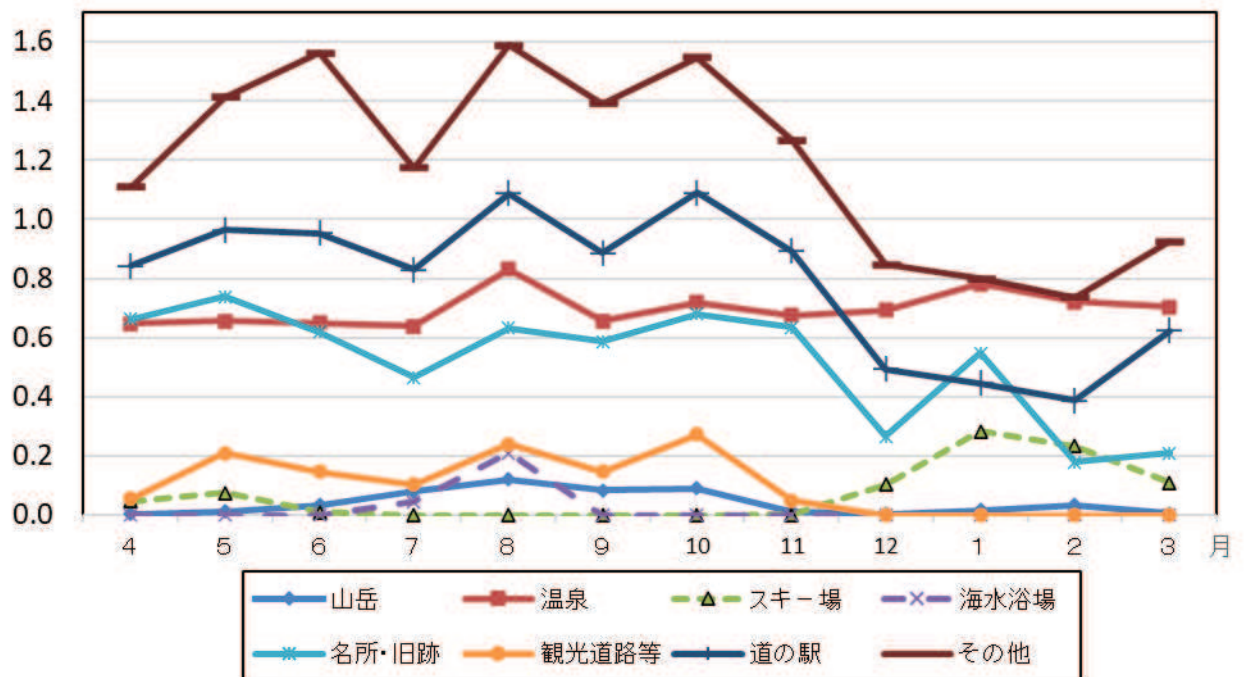


図5 観光地類型別月別動向

(単位: 百万人)

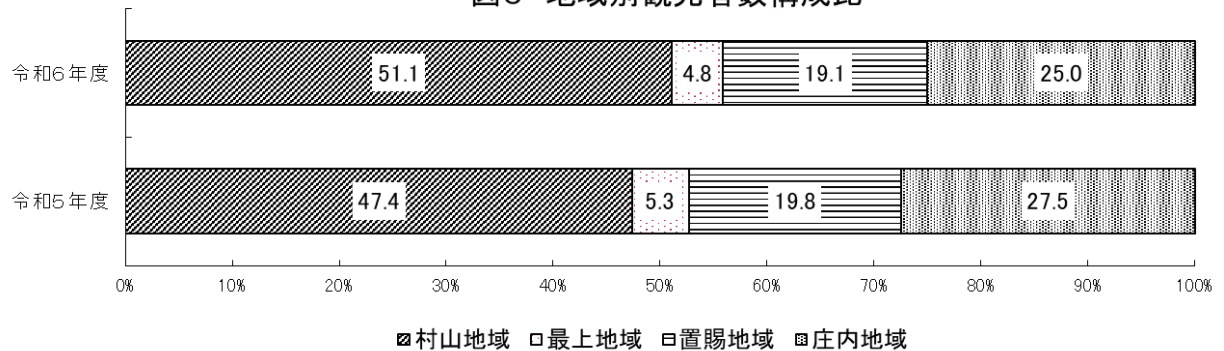


4 地域別観光者数の動向

＝ 7 月の大雨により庄内・最上で減少＝

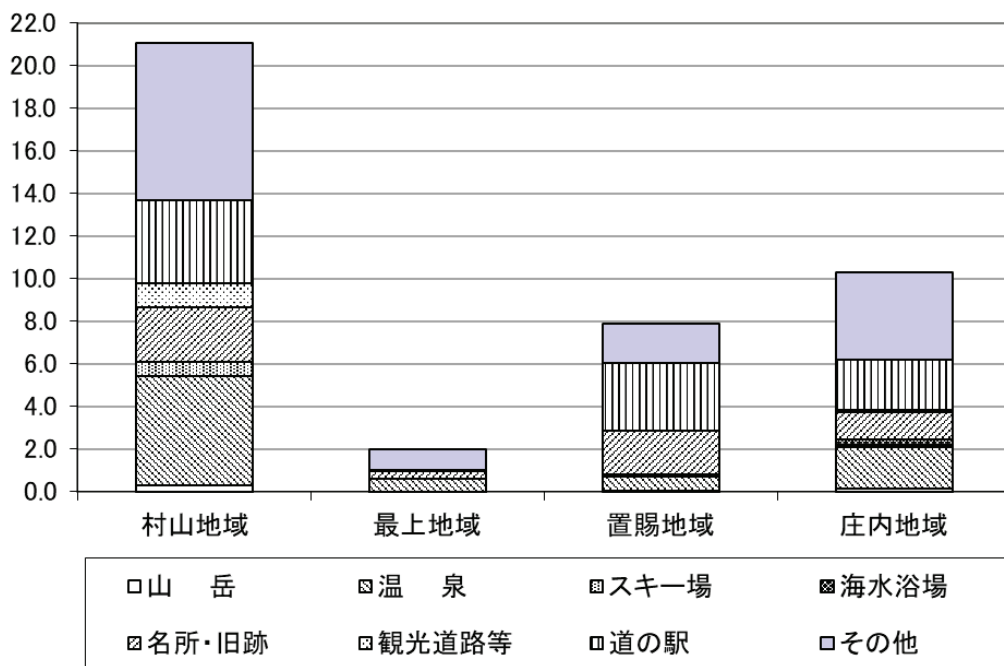
県内で観光者数の最も多い地域は、村山地域の約 2,109 万 5 千人（対 5 年度 15.1%増、構成比 51.1%）、次いで庄内地域の約 1,032 万 5 千人（対 5 年度 3.1%減、構成比 25.0%）、置賜地域の約 787 万（対 5 年度 3.0%増、構成比 19.1%）、最上地域の約 200 万 1 千人（対 5 年度 2.1%減、構成比 4.8%）の順となっている。

図6 地域別観光者数構成比



(単位: 百万人)

図7 地域別観光者数



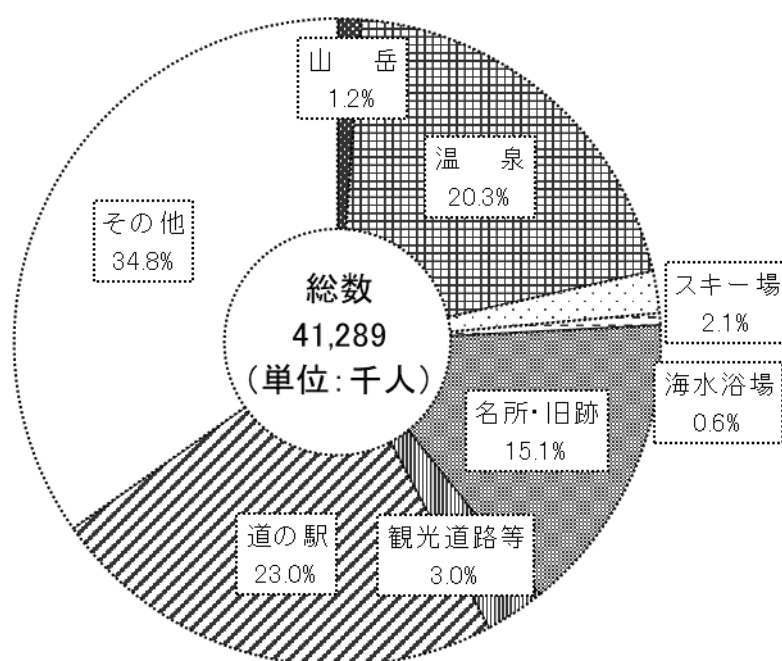
5 観光地類型別観光者数の動向

＝「スキー場」が大きく増加＝

観光地類型別の構成比は、「温泉観光地」が約 836 万 8 千人（構成比 20.3%）、「道の駅」が約 949 万 4 千人（構成比 23.0%）、「その他の観光地」が約 1,436 万 1 千人（構成比 34.8%）となっており、これらの3類型で全体の78.1%を占める。

令和5年度比では、「スキー場」が118.9%と大きく増加した。

図8 観光地類型別構成比



	令和6年度	構成比	令和5年度	構成比
第1位	その他の観光地	34.8%	その他の観光地	33.7%
第2位	道の駅	23.0%	道の駅	22.1%
第3位	温泉観光地	20.3%	温泉観光地	21.0%

※「その他の観光地」とは、観光果樹園や美術館、産直施設等。

図9 地域別観光地類型別分布図

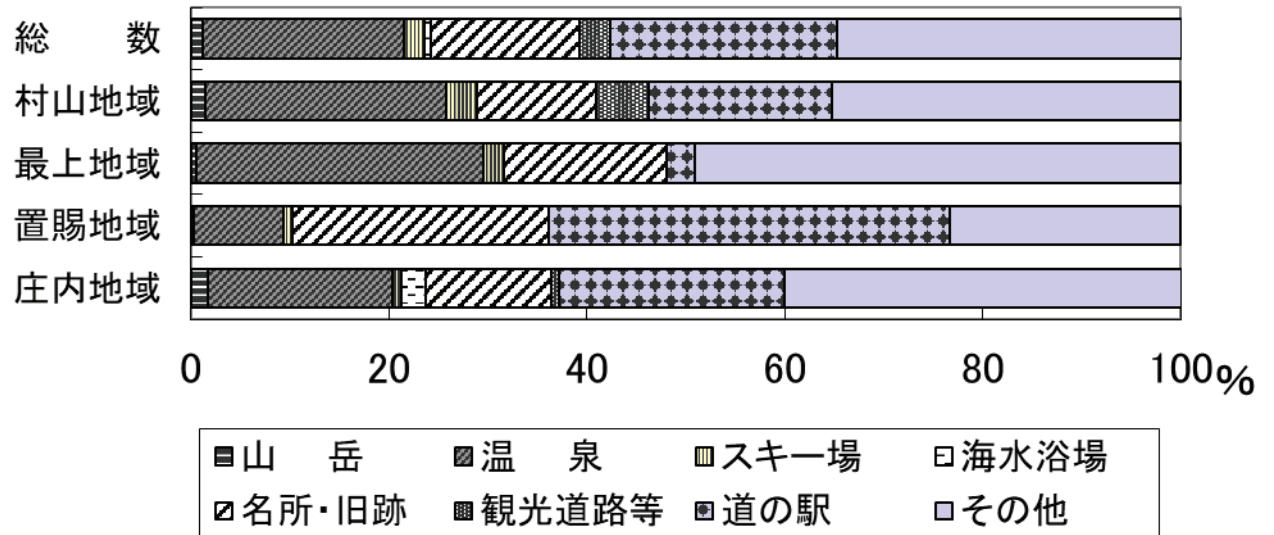
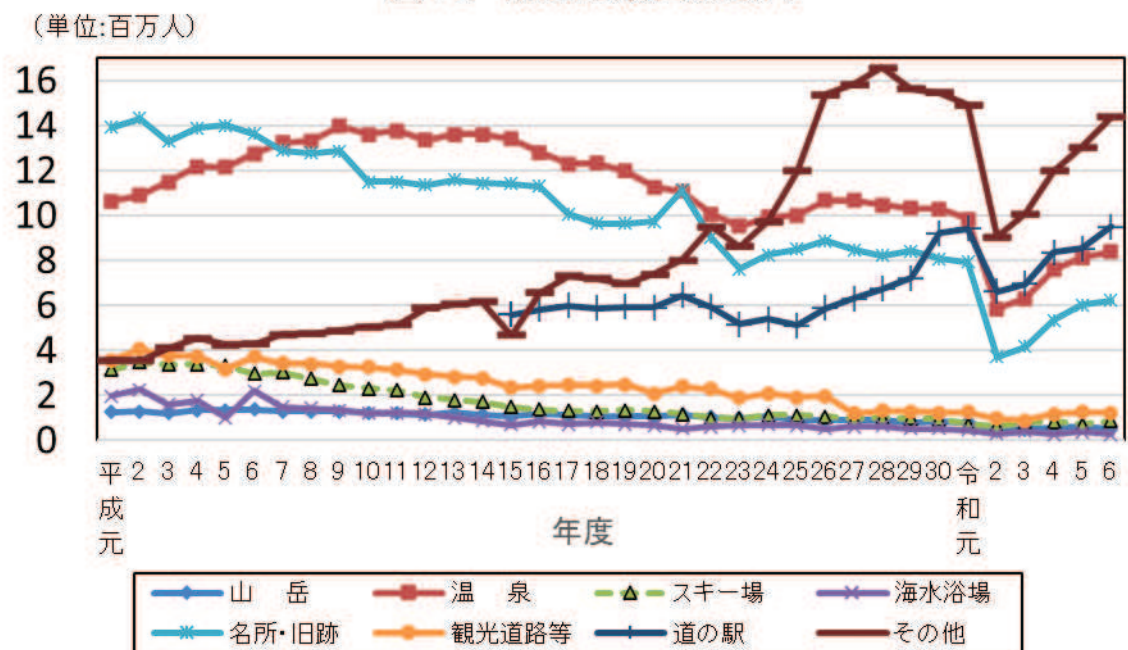


図10 観光地類型別動向



(1) 山岳観光地の観光者数動向

＝19.1%の減少＝

「山岳観光地」における観光者数は約 49 万 7 千人となり、令和 5 年度に比べ 19.1%、約 11 万 7 千人減少した。

(2) 温泉観光地の観光者数動向

＝3.0%の増加＝

「温泉観光地」における観光者数は約 836 万 8 千人となり、令和 5 年度に比べ 3.0%、約 24 万 2 千人増加した。

(3) スキー場の観光者数動向

＝18.9%の増加＝

「スキー場」における観光者数は約 86 万 4 千人となり、令和 5 年度に比べ 18.9%、約 13 万 7 千人増加した。

(4) 海水浴場の観光者数動向

＝28.9%の減少＝

「海水浴場」における観光者数は約 25 万 6 千人となり、令和 5 年度に比べ 28.9%、約 10 万 4 千人減少した。

(5) 名所・旧跡観光地の観光者数動向

＝3.7%の増加＝

「名所・旧跡観光地」における観光者数は約 622 万 5 千人となり、令和 5 年度に比べ 3.7%、約 22 万人増加した。

(6) 観光道路等の観光者数動向

＝2.7%の減少＝

「観光道路等」における観光者数は約 122 万 4 千人となり、令和 5 年度に比べ 2.7%、約 3 万 4 千人減少した。

(7) 道の駅の観光者数動向

＝11.2%の増加＝

「道の駅」における観光者数は約 949 万 5 千人となり、令和 5 年度に比べ 11.2%、約 95 万 7 千人増加した。

(8) その他の観光地の観光者数動向

＝10.2%の増加＝

観光果樹園や美術館、産直施設等の「その他の観光地」における観光者数は約1,436万2千人となり、令和5年度に比べ10.2%、約132万5千人増加した。

6 祭り・イベントの入込状況

祭り・イベントの入込みについては観光者数調査に含まれないが、県内の主な祭り・イベントを対象にして別途調査を実施した。

令和6年度の祭り・イベントの入込数は、89件の祭り・イベントで約481万7千人であり、令和5年度に比べ5.4%、約24万8千人増加した。

Ⅲ 令和 6 年度山形県観光者数調査結果統計表

第 1 表 観光地類型別、県内・県外別及び月別観光者数

上段は観光者数（単位：千人）、中段は構成比（単位：％）、下段は前年度比（単位：％）

観光地類型別	観光者数			月 別											
	総数	県内客	県外客	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
山 岳 観 光 地	497.0	270.8	226.2	3.3	13.2	34.5	80.0	120.0	83.3	91.2	12.5	4.1	15.8	32.8	6.3
	100.0	54.5	45.5	0.7	2.7	6.9	16.1	24.1	16.8	18.3	2.5	0.8	3.2	6.6	1.3
	80.9	81.3	80.5	122.2	85.8	94.5	68.7	70.1	86.9	96.8	97.7	100.0	105.3	77.4	81.8
温 泉 観 光 地	8,368.1	5,644.4	2,723.7	646.4	655.1	649.1	639.0	830.9	655.5	718.6	675.9	692.9	781.1	720.4	703.2
	100.0	67.5	32.5	7.7	7.8	7.8	7.6	9.9	7.8	8.6	8.1	8.3	9.3	8.6	8.4
	103.0	101.8	105.6	104.4	100.5	103.9	99.7	102.0	106.4	98.7	102.3	104.9	106.2	103.4	104.2
ス キ ー 場	864.3	441.8	422.5	47.5	76.1	10.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	102.7	284.1	234.3	108.8
	100.0	51.1	48.9	5.5	8.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.9	32.9	27.1	12.6
	118.9	128.2	110.5	117.0	87.9	107.4	18.2	0.0	0.0	0.0	22.2	137.1	130.7	114.3	125.3
海 水 浴 場	255.7	175.7	80.0	—	—	—	45.4	210.3	0.0	—	—	—	—	—	—
	100.0	68.7	31.3	—	—	—	17.8	82.2	0.0	—	—	—	—	—	—
	71.1	71.8	69.6	—	—	—	32.0	96.5	—	—	—	—	—	—	—
名 所 ・ 旧 跡 観 光 地	6,224.6	3,093.8	3,130.8	662.3	739.3	620.1	466.2	632.6	586.8	680.2	634.1	265.6	547.5	180.0	209.9
	100.0	49.7	50.3	10.6	11.9	10.0	7.5	10.2	9.4	10.9	10.2	4.3	8.8	2.9	3.4
	103.7	108.7	99.1	129.4	108.0	118.2	94.9	81.9	100.8	107.4	108.9	101.5	102.6	80.6	102.6
観 光 道 路 等	1,223.6	591.9	631.7	55.2	209.5	147.6	103.0	239.8	147.3	271.5	49.7	—	—	—	—
	100.0	48.4	51.6	4.5	17.1	12.1	8.4	19.6	12.0	22.2	4.1	—	—	—	—
	97.3	97.2	97.3	122.9	113.7	119.8	65.2	81.9	80.9	118.2	115.3	—	—	—	—
道 の 駅	9,494.8	4,225.2	5,269.6	842.8	963.5	952.4	830.5	1,086.5	886.5	1,089.3	892.8	492.4	445.4	388.1	624.6
	100.0	44.5	55.5	8.9	10.1	10.0	8.7	11.4	9.3	11.5	9.4	5.2	4.7	4.1	6.6
	111.2	114.5	108.7	120.5	103.3	113.4	100.6	106.5	115.4	117.8	118.6	107.1	115.0	90.6	124.8
そ の 他 の 観 光 地	14,361.6	8,943.6	5,418.0	1,109.7	1,412.8	1,561.4	1,174.8	1,588.3	1,391.6	1,547.6	1,267.9	847.6	800.0	735.4	924.5
	100.0	62.3	37.7	7.7	9.8	10.9	8.2	11.1	9.7	10.8	8.8	5.9	5.6	5.1	6.4
	110.2	104.8	120.4	128.7	110.3	116.1	104.2	110.3	110.4	113.8	111.8	95.8	110.8	94.2	110.0
合 計	41,289.7	23,387.2	17,902.5	3,367.2	4,069.5	3,975.3	3,339.1	4,708.5	3,751.0	4,398.3	3,533.2	2,405.3	2,873.9	2,291.0	2,577.3
	100.0	56.6	43.4	8.2	9.9	9.6	8.1	11.4	9.1	10.7	8.6	5.8	7.0	5.5	6.2
	106.8	105.6	108.4	121.1	106.1	113.5	95.3	99.6	107.0	110.8	110.8	102.6	110.1	96.4	111.3

第2表 年度別観光者数(令和2年度～令和6年度)

(単位：千人、%)

区分 観光地類型別		県内容					県外客					合 計				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
山岳観光地	観光者数	232.8	263.7	296.7	333.2	270.8	204.5	224.6	254.8	281.0	226.2	437.3	488.3	551.5	614.2	497.0
	前年度比	55.3	113.3	112.5	112.3	81.3	55.5	109.8	113.4	110.3	80.5	55.4	111.7	112.9	111.4	80.9
温泉観光地	観光者数	4,139.4	4,533.4	5,242.7	5,546.3	5,644.4	1,710.7	1,770.4	2,345.4	2,579.6	2,723.7	5,850.1	6,303.8	7,588.1	8,125.9	8,368.1
	前年度比	62.4	109.5	115.6	105.8	101.8	53.6	103.5	132.5	110.0	105.6	59.5	107.8	120.4	107.1	103.0
スキー場	観光者数	359.9	417.3	419.7	344.6	441.8	260.5	377.0	406.3	382.3	422.5	620.4	794.3	826.0	726.9	864.3
	前年度比	108.6	115.9	100.6	82.1	128.2	67.7	144.7	107.8	94.1	110.5	86.6	128.0	104.0	88.0	118.9
海水浴場	観光者数	188.7	267.0	165.4	244.7	175.7	95.8	129.8	83.3	115.0	80.0	284.5	396.8	248.7	359.7	255.7
	前年度比	63.1	141.5	61.9	147.9	71.8	58.1	135.5	64.2	138.1	69.6	61.3	139.5	62.7	144.6	71.1
名所・旧跡 観光地	観光者数	1,820.2	2,029.7	2,573.8	2,846.3	3,093.8	1,875.1	2,129.2	2,762.8	3,158.7	3,130.8	3,695.3	4,158.9	5,336.6	6,004.9	6,224.6
	前年度比	48.1	111.5	126.8	110.6	108.7	45.2	113.6	129.8	114.3	99.1	46.6	112.5	128.3	112.5	103.7
観光道路等	観光者数	469.5	431.3	563.3	609.0	591.9	499.7	458.8	600.1	648.9	631.7	969.2	890.1	1,163.4	1,257.9	1,223.6
	前年度比	76.6	91.9	130.6	108.1	97.2	76.8	91.8	130.8	108.1	97.3	76.7	91.8	130.7	108.1	97.3
道の駅	観光者数	2,960.1	3,279.6	3,839.1	3,691.1	4,225.2	3,642.9	3,671.2	4,507.3	4,847.0	5,269.6	6,603.0	6,950.8	8,346.4	8,538.1	9,494.8
	前年度比	73.8	110.8	117.1	96.1	114.5	67.6	100.8	122.8	107.5	108.7	70.2	105.3	120.1	102.3	111.2
その他の 観光地	観光者数	6,291.3	7,167.0	8,191.5	8,535.1	8,943.6	2,760.1	2,908.9	3,782.1	4,501.3	5,418.0	9,051.4	10,075.9	11,973.6	13,036.4	14,361.6
	前年度比	66.2	113.9	114.3	104.2	104.8	51.0	105.4	130.0	119.0	120.4	60.7	111.3	118.8	108.9	110.2
合 計	観光者数	16,461.9	18,389.0	21,292.2	22,150.2	23,387.2	11,049.3	11,669.9	14,742.1	16,513.8	17,902.5	27,511.2	30,058.9	36,034.3	38,664.0	41,289.7
	前年度比	64.3	111.7	115.8	104.0	105.6	56.1	105.6	126.3	112.0	108.4	60.7	109.3	119.9	107.3	106.8

第 3 表 市町村別観光者数

(単位：千人、%)

村山地域				最上地域				置賜地域				庄内地域			
市町村名	令和6年度	令和5年度	前年度比	市町村名	令和6年度	令和5年度	前年度比	市町村名	令和6年度	令和5年度	前年度比	市町村名	令和6年度	令和5年度	前年度比
山形市	6,705.1	5,235.8	128.1	新庄市	439.4	432.8	101.5	米沢市	3,073.8	3,020.1	101.8	鶴岡市	4,424.0	4,625.9	95.6
寒河江市	3,594.8	2,761.3	130.2	金山町	100.9	109.0	92.6	長井市	978.6	1,012.4	96.7	酒田市	2,528.1	2,508.7	100.8
上山市	1,628.8	1,511.4	107.8	最上町	635.6	610.2	104.2	南陽市	1,043.1	966.4	107.9	三川町	261.6	266.9	98.0
村山市	789.6	791.2	99.8	舟形町	259.1	251.7	102.9	高畠町	938.3	844.2	111.1	庄内町	608.0	577.3	105.3
天童市	2,227.2	2,170.5	102.6	真室川町	84.2	82.7	101.8	川西町	423.0	389.8	108.5	遊佐町	2,502.8	2,671.3	93.7
東根市	1,574.2	1,558.2	101.0	大蔵村	56.1	62.6	89.6	小国町	292.1	256.7	113.8				
尾花沢市	1,380.7	1,350.6	102.2	鮭川村	47.8	73.2	65.3	白鷹町	562.7	581.3	96.8				
山辺町	337.6	334.4	101.0	戸沢村	377.5	420.6	89.8	飯豊町	558.0	569.6	98.0				
中山町	223.9	224.2	99.9												
河北町	503.5	471.0	106.9												
西川町	586.6	567.6	103.3												
朝日町	575.9	579.4	99.4												
大江町	597.9	408.3	146.4												
大石田町	369.3	366.7	100.7												
計	21,095.0	18,330.6	115.1	計	2,000.6	2,042.8	97.9	計	7,869.6	7,640.5	103.0	計	10,324.5	10,650.1	96.9

第 4 表 観光地類型別・地域別観光者数

(単位：千人、%)

観光地類型別 地域別	村山地域			最上地域			置賜地域			庄内地域			合計		
	観光者数	前年度比	構成比	観光者数	前年度比	構成比	観光者数	前年度比	構成比	観光者数	前年度比	構成比	観光者数	前年度比	構成比
山 岳 観 光 地	289.5	87.2	1.4	11.1	42.2	0.6	22.6	78.5	0.3	173.8	76.5	1.7	497.0	80.9	1.2
温 泉 観 光 地	5,153.1	106.3	24.4	580.2	95.7	29.0	707.8	95.2	9.0	1,927.0	100.0	18.7	8,368.1	103.0	20.3
ス キ ー 場	664.2	115.2	3.1	40.8	144.2	2.0	78.9	165.1	1.0	80.4	108.4	0.8	864.3	118.9	2.1
海 水 浴 場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	255.7	71.1	2.5	255.7	71.1	0.6
名所・旧跡観光地	2,540.5	112.3	12.0	329.7	97.4	16.5	2,041.6	99.5	25.9	1,312.8	97.0	12.7	6,224.6	103.7	15.1
観 光 道 路 等	1,139.2	99.2	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.4	77.1	0.8	1,223.6	97.3	3.0
道 の 駅	3,909.8	133.2	18.5	56.7	88.5	2.8	3,186.7	102.6	40.5	2,341.6	96.3	22.7	9,494.8	111.2	23.0
その他の観光地	7,398.7	118.8	35.1	982.1	100.3	49.1	1,832.0	110.2	23.3	4,148.8	99.5	40.2	14,361.6	110.2	34.8
計	21,095.0	115.1	100.0	2,000.6	97.9	100.0	7,869.6	103.0	100.0	10,324.5	96.9	100.0	41,289.7	106.8	100.0
地域別構成比	51.1			4.8			19.1			25.0			100.0		

第5表 年度別観光者数動向

(単位：千人)

年度	県内客	県外客	計	主な出来事
昭和38	7,834.5	6,015.4	13,849.9	
39	8,752.1	6,363.3	15,115.4	山形空港開港 特急「やまばと」山形～上野間運転開始
40	8,215.2	6,441.1	14,656.3	県営初の観光有料道路「蔵王ライン」開通
41	9,023.2	7,245.3	16,268.5	
42	9,809.9	7,968.8	17,778.7	
43	10,827.9	8,308.5	19,136.4	
44	11,407.1	9,460.7	20,867.8	
45	12,160.1	9,361.7	21,521.8	
46	12,762.7	9,653.4	22,416.1	国道7号線おばこおけさライン開通
47	13,353.0	11,033.3	24,386.3	インターハイ開催
48	14,057.0	13,141.5	27,198.5	西吾妻スカイレー開通 第1次オイルショック
49	14,490.2	12,521.3	27,011.5	鳥海ブルーライン開通
50	15,095.2	13,913.3	29,008.5	東北自動車道岩槻～仙台間開通
51	14,117.6	12,644.6	26,762.2	山形空港にジェット旅客機就航 東北・北海道で戦後最大の冷害
52	15,037.7	12,852.0	27,889.7	
53	14,766.0	13,469.9	28,235.9	
54	15,223.8	14,014.8	29,238.6	山形～大阪便・山形～札幌便就航 第2次オイルショック
55	14,857.6	14,419.7	29,277.3	
56	15,568.4	14,722.8	30,291.2	笹谷トンネル供用開始 月山新道開通
57	15,724.8	15,236.4	30,961.2	「紅花の山形路観光キャンペーン」開始(デスティネーションキャンペーン)
58	15,872.7	15,164.0	31,036.7	
59	16,999.0	15,317.6	32,316.6	
60	17,552.1	15,765.0	33,317.1	紅花の山形路観光フェスティバル、蔵王エコーライン・蔵王ライン無料化
61	17,939.6	15,529.2	33,468.8	西蔵王有料道路開通
62	18,143.5	16,600.8	34,744.3	
63	18,531.2	16,669.2	35,200.4	奥の細道紀行イベント「紅花の山形路キャンペーン」(DC)
平成元	19,871.6	18,172.9	38,044.5	山形自動車道山形北～寒河江間開通 奥の細道紀行300年祭
2	20,627.3	19,183.3	39,810.6	山形自動車道宮城川崎～笹谷間開通 奥の細道広域イベント
3	20,155.2	18,649.0	38,804.2	庄内空港開港 山形自動車道寒河江～村田間開通(全線開通)
4	21,112.1	19,688.3	40,800.4	べにばな国体 山形新幹線開業 デスティネーションキャンペーン 山形～名古屋便就航 国道121号大峠道路開通 国道348号白鷹～山形間全線開通
5	20,535.0	18,684.0	39,219.0	出羽三山開山1400年観光キャンペーン
6	21,715.9	19,149.0	40,864.9	松尾芭蕉生誕350年「奥の細道キャンペーン」 阪神大震災
7	21,282.4	18,768.8	40,051.2	「新上杉歴史街道」キャンペーン 庄内～札幌便の季節就航 東京都霞が関に「やまがたプラザゆとり都」オープン
8	21,404.4	18,265.2	39,669.6	「旬・華・酒・湯」キャンペーン
9	22,033.9	18,039.6	40,073.5	山形自動車道庄内あさひ～酒田間開通
10	21,241.0	16,885.1	38,126.1	「四季感動のやまがた」観光キャンペーン 山形自動車道寒河江～西川間開通
11	21,448.4	16,740.4	38,188.8	山形新幹線新庄開業 山形自動車道西川～月山間開通
12	21,009.2	16,678.3	37,687.5	デスティネーションキャンペーン
13	21,496.0	16,593.5	38,089.5	上杉鷹山生誕250年祭 山形自動車道酒田～酒田みなと間開通
14	21,386.4	16,278.1	37,664.5	山形新幹線開業10周年 東北中央自動車道東根～山形上山間開通
15	22,353.6	18,319.4	40,673.0	「おいしい山形」観光キャンペーン開始 国民文化祭・やまがた2003、山形もがみ国体
16	23,171.1	19,097.6	42,268.7	「おいしい山形」デスティネーションキャンペーン 新潟県中越地震
17	22,316.1	18,909.3	41,225.4	ソウル事務所開設 平成18年豪雪
18	21,911.3	18,680.9	40,592.2	
19	21,184.1	18,892.9	40,077.0	「やまがた花回廊キャンペーン」開始(H19～21) 新潟県中越沖地震
20	20,809.9	18,514.4	39,324.3	ガソリン価格高騰 岩手・宮城内陸地震 世界的経済不況
21	21,600.8	20,243.7	41,844.5	NHK大河ドラマ「天地人」放映(H21.1～) おくりびとアカデミー賞受賞(H21.2)
22	20,794.3	18,639.4	39,433.7	東日本大震災(H23.3.11)
23	18,647.0	16,751.6	35,398.6	山形県ハルビン事務所開設
24	20,505.0	17,671.1	38,176.1	山形新幹線開業20周年、山形花笠まつり50周年
25	22,065.6	18,105.4	40,171.0	「山形日和。」観光キャンペーン(ブレDC)
26	25,452.8	19,718.8	45,171.6	山形デスティネーションキャンペーン 東北六魂祭 全国育樹祭
27	25,462.4	19,441.9	44,904.3	「山形日和。」観光キャンペーン(ポストDC)、日台観光サミット
28	26,098.5	19,715.6	45,814.1	「出羽三山」日本遺産認定、「新庄まつり」ユネスコ無形文化遺産登録 やまがた技能五輪・アビリンピック2016
29	25,981.0	19,141.4	45,122.4	南東北総体、UNWTO 雪と文化の世界観光会議 東北中央自動車道福島大笹生～米沢北間開通
30	26,297.5	20,209.9	46,507.4	新潟県・庄内エリア ブレデスティネーションキャンペーン 道の駅米沢開業、本県初の国際定期チャーター便就航
令和元	25,601.2	19,710.5	45,311.7	新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン 山形県沖を震源とする地震の発生、新型コロナウイルスの発生
2	16,461.9	11,049.3	27,511.2	新型コロナウイルス感染拡大 新潟県・庄内エリア ポストデスティネーションキャンペーン
3	18,389.0	11,669.9	30,058.9	新型コロナウイルス感染拡大の影響長期化 東北デスティネーションキャンペーン
4	21,292.2	14,742.1	36,034.3	新型コロナウイルス感染拡大の影響長期化 全国旅行支援～やまがた旅割キャンペーン～
5	22,150.2	16,513.8	38,664.0	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行 国際チャーター便の運航・外航クルーズ船の受入再開
6	23,387.2	17,902.5	41,289.7	春の観光キャンペーン「心ほどけるやまがた」 冬こそやまがた最上・庄内泊まって応援キャンペーン

第6表 観光地類型別観光者の動向

(単位：千人)

年度	山岳観光地	温泉観光地	スキー場	海水浴場	名所・旧跡 観光地	観光道路等	道の駅	その他の 観光地	計
昭和38	958.6	5,000.7	877.6	1,074.4	2,502.2	1,577.9		1,858.5	13,849.9
39	1,049.8	5,192.6	1,197.0	1,069.5	4,655.0	1,401.2		550.3	15,115.4
40	709.6	5,267.5	1,256.2	1,027.1	4,270.0	1,621.7		504.2	14,656.3
41	688.0	5,867.0	1,386.3	1,099.0	4,929.6	1,706.8		591.8	16,268.5
42	703.4	6,767.6	1,522.8	1,346.0	4,790.4	1,925.1		723.4	17,778.7
43	729.2	6,959.5	1,637.9	1,426.5	5,835.7	2,129.5		418.1	19,136.4
44	773.0	7,033.6	1,795.4	1,310.5	6,609.4	2,598.8		747.1	20,867.8
45	1,015.8	6,918.8	2,004.0	1,550.9	7,057.9	2,274.4		700.0	21,521.8
46	1,133.5	7,048.4	1,829.8	1,727.1	8,005.5	1,901.2		770.6	22,416.1
47	981.5	7,632.9	2,346.3	1,874.5	8,511.6	1,942.2		1,097.3	24,386.3
48	1,566.5	7,942.3	2,318.2	1,792.9	9,173.1	3,217.6		1,187.9	27,198.5
49	1,650.5	7,950.4	2,251.9	1,447.2	9,739.5	2,766.5		1,205.5	27,011.5
50	1,644.2	7,950.2	2,453.6	1,605.8	10,166.9	3,287.7		1,900.1	29,008.5
51	1,183.0	7,696.4	2,156.7	1,039.0	9,935.8	3,073.1		1,678.2	26,762.2
52	1,356.4	8,155.6	2,140.4	1,366.2	10,810.3	2,319.4		1,741.4	27,889.7
53	1,473.0	8,058.8	1,725.7	1,377.6	11,140.0	2,573.5		1,887.3	28,235.9
54	1,275.4	8,539.7	2,310.6	1,104.7	11,257.4	2,708.3		2,042.5	29,238.6
55	1,262.1	8,437.3	2,502.4	1,165.6	11,459.2	2,542.6		1,908.1	29,277.3
56	1,309.1	8,931.2	2,665.2	1,376.3	11,380.3	2,691.0		1,938.1	30,291.2
57	1,236.9	9,096.2	2,585.3	1,209.0	12,024.7	2,742.6		2,066.5	30,961.2
58	1,253.0	9,123.8	2,858.0	1,025.9	11,844.8	2,489.1		2,442.1	31,036.7
59	1,473.1	9,162.4	2,864.3	1,765.4	11,724.3	2,702.2		2,624.9	32,316.6
60	1,373.8	9,375.7	3,005.1	1,719.5	12,172.1	2,897.6		2,773.3	33,317.1
61	1,270.1	9,434.2	2,582.5	1,570.0	12,035.9	3,350.5		3,225.6	33,468.8
62	1,149.5	9,714.0	2,611.9	1,294.8	13,307.6	3,296.1		3,370.4	34,744.3
63	1,196.9	10,175.4	3,077.3	1,985.7	12,365.3	3,126.7		3,273.1	35,200.4
平成元	1,265.8	10,631.2	3,125.7	1,978.3	13,902.7	3,574.1		3,566.7	38,044.5
2	1,290.5	10,894.5	3,468.6	2,256.5	14,323.2	4,050.4		3,526.9	39,810.6
3	1,189.6	11,488.0	3,371.2	1,593.2	13,282.7	3,759.3		4,120.2	38,804.2
4	1,341.3	12,182.8	3,382.7	1,755.0	13,884.4	3,730.8		4,523.4	40,800.4
5	1,327.0	12,141.8	3,321.3	1,009.2	14,010.4	3,160.9		4,248.4	39,219.0
6	1,362.2	12,729.9	2,966.5	2,199.8	13,621.2	3,702.4		4,282.9	40,864.9
7	1,297.8	13,225.8	3,025.5	1,476.8	12,896.0	3,425.2		4,704.1	40,051.2
8	1,293.5	13,326.0	2,731.2	1,436.5	12,767.7	3,389.4		4,725.3	39,669.6
9	1,285.1	13,967.4	2,442.9	1,349.9	12,864.7	3,284.1		4,879.4	40,073.5
10	1,219.0	13,598.7	2,313.5	1,191.4	11,502.0	3,242.2		5,059.3	38,126.1
11	1,198.2	13,763.5	2,235.8	1,238.3	11,485.0	3,127.6		5,140.4	38,188.8
12	1,133.8	13,327.5	1,904.8	1,169.1	11,354.1	2,934.5		5,863.7	37,687.5
13	1,233.8	13,608.3	1,795.2	1,010.5	11,581.1	2,814.9		6,045.7	38,089.5
14	1,150.0	13,586.7	1,709.8	854.2	11,436.7	2,770.2		6,156.9	37,664.5
15	1,078.6	13,408.4	1,494.1	698.1	11,391.9	2,349.6	5,587.4	4,664.9	40,673.0
16	1,173.2	12,803.0	1,376.3	821.4	11,275.1	2,420.4	5,827.8	6,571.5	42,268.7
17	1,115.1	12,284.7	1,303.2	728.0	10,071.3	2,444.8	5,987.2	7,291.1	41,225.4
18	1,055.2	12,311.5	1,279.0	804.0	9,643.6	2,417.9	5,883.7	7,197.3	40,592.2
19	1,077.3	11,964.1	1,329.9	703.3	9,648.3	2,489.1	5,920.1	6,944.9	40,077.0
20	1,055.6	11,270.1	1,287.8	651.9	9,710.8	2,078.6	5,889.3	7,380.2	39,324.3
21	1,129.0	11,051.8	1,176.6	523.0	11,116.5	2,396.5	6,438.0	8,013.1	41,844.5
22	1,041.4	10,061.0	997.6	592.6	9,010.7	2,294.3	5,940.2	9,495.9	39,433.7
23	978.4	9,526.4	969.4	650.7	7,603.2	1,892.2	5,163.2	8,615.1	35,398.6
24	1,049.8	9,925.8	1,099.6	689.2	8,230.1	2,070.7	5,390.5	9,720.4	38,176.1
25	886.5	9,994.9	1,116.2	665.3	8,499.9	1,920.9	5,106.1	11,981.2	40,171.0
26	885.7	10,655.0	1,053.8	519.1	8,853.2	1,960.2	5,885.9	15,358.7	45,171.6
27	896.6	10,669.1	942.5	597.8	8,463.1	1,203.9	6,300.6	15,830.7	44,904.3
28	915.8	10,470.0	987.2	631.6	8,222.5	1,312.5	6,721.6	16,552.9	45,814.1
29	812.7	10,316.0	962.9	513.6	8,419.5	1,284.4	7,202.3	15,611.0	45,122.4
30	825.0	10,282.7	935.0	513.5	8,061.6	1,229.2	9,211.1	15,449.3	46,507.4
令和元	789.4	9,826.1	716.3	463.9	7,932.4	1,264.1	9,399.6	14,919.9	45,311.7
2	437.3	5,850.1	620.4	284.5	3,695.3	969.2	6,603.0	9,051.4	27,511.2
3	488.3	6,303.8	794.3	396.8	4,158.9	890.1	6,950.8	10,075.9	30,058.9
4	551.5	7,588.1	826.0	248.7	5,336.6	1,163.4	8,346.4	11,973.6	36,034.3
5	614.2	8,125.9	726.9	359.7	6,004.9	1,257.9	8,538.1	13,036.4	38,664.0
6	497.0	8,368.1	864.3	255.7	6,224.6	1,223.6	9,494.8	14,361.6	41,289.7

第7表 祭り・イベントの入込状況

(1) 祭り・イベントの月別動向

(単位：千人、%)

	月別	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和6年度	観光者数	4,817.2	593.4	985.4	48.0	31.4	2,039.8	263.7	178.4	63.3	46.3	193.8	302.9	70.8
	構成比	100.0	12.3	20.5	1.0	0.7	42.3	5.5	3.7	1.3	1.0	4.0	6.3	1.5
	件数※	89	13	10	4	3	20	10	8	8	4	8	10	5
令和5年度	観光者数	4,568.9	777.3	639.2	18.4	20.7	2,094.7	272.7	85.8	55.5	84.5	180.4	271.7	68.0
	件数※	70	12	7	3	4	18	9	6	5	4	3	7	1
	増減	248.3	△ 183.9	346.2	29.6	10.7	△ 54.9	△ 9.0	92.6	7.8	△ 38.2	13.4	31.2	2.8
	前年度比	105.4	76.3	154.2	260.9	151.7	97.4	96.7	207.9	114.1	54.8	107.4	111.5	104.1

※複数月にまたがるイベントがあるため、各月の件数を足し上げた数値と一致しない。

(2) 祭り・イベントの地区別動向

(単位：千人、%)

地区別	祭り・イベント数		観光者数		観光者数	令和6年度
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	前年度比	構成比
村山地域	31	29	2,889.5	2,880.3	100.3	60.0
最上地域	16	9	593.9	497.8	119.3	12.3
置賜地域	18	14	555.8	589.8	94.2	11.5
庄内地域	24	18	778.0	601.0	129.5	16.2
合 計	89	70	4,817.2	4,568.9	105.4	100.0

(3) 令和6年度の主な祭り・イベント入込数

(単位：千人)

名称	開催時期	市町村	観光者数	
			令和6年度	令和5年度
花笠まつり	8月	山形市	700.0	800.0
新庄まつり	8月	新庄市	420.0	380.0
霞城観桜会	4月	山形市	334.0	215.0
薬師祭植木市	5月	山形市	290.0	270.0
酒田まつり	5月	酒田市	258.0	268.0
鶴岡天神祭（化けものまつり）	5月	鶴岡市	250.0	150.0
米沢上杉まつり	4～5月	米沢市	168.0	215.0
山形県観光物産市	8月	山形市	160.0	150.0
樹氷まつり	2月	山形市	153.1	115.2
ひがしね祭	8月	東根市	151.0	150.0

※入込数が多い順に上位10件を掲載

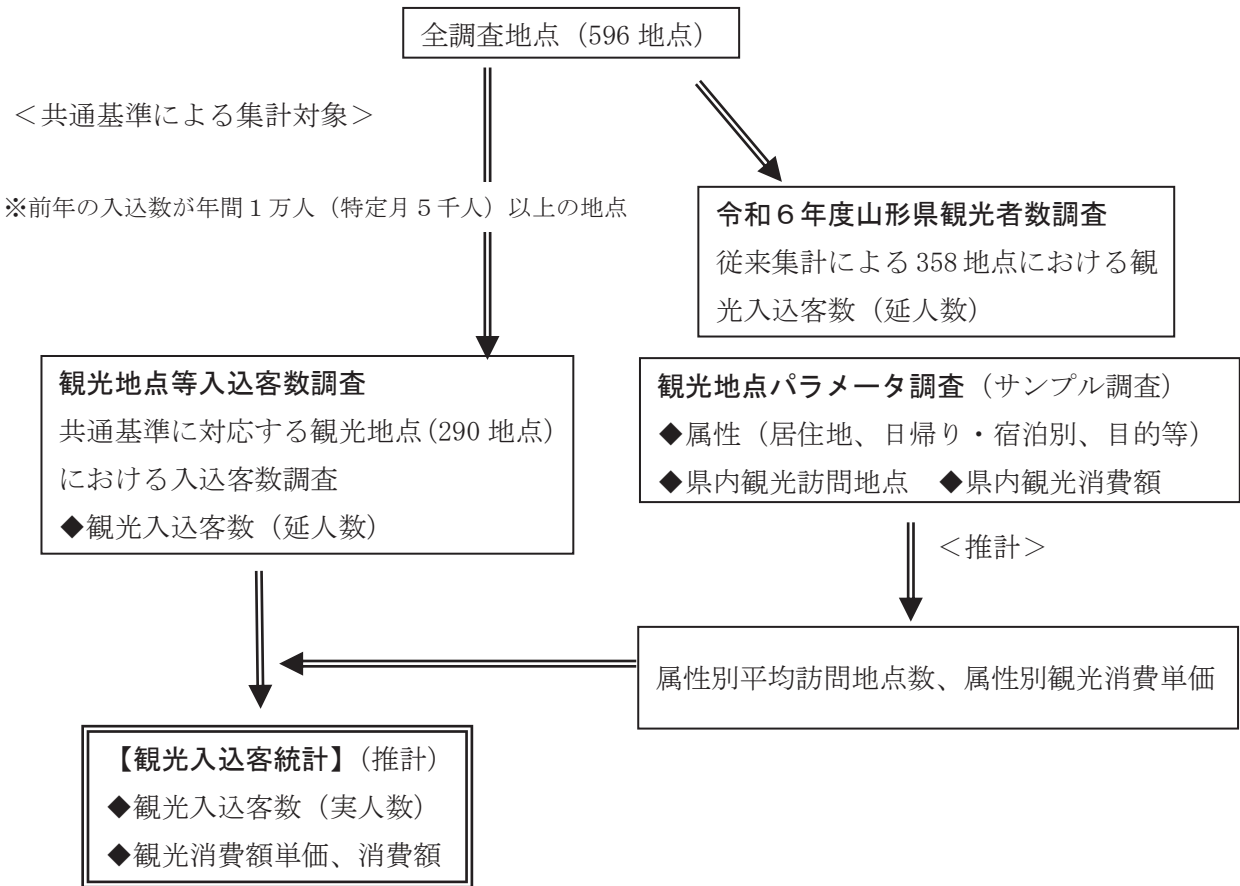
IV 観光入込客統計に関する共通基準に基づく調査の概要

観光入込客統計に関する共通基準に基づく調査（令和6年1月～12月）の概要

1 調査の目的

都道府県における観光入込客に関する統計について、調査項目の定義、調査方法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する。

2 実施方法



3 調査結果

令和6年観光消費額	188,432 百万円	（令和5年 177,189 百万円）
内訳 日本人	174,433 百万円	（令和5年 166,944 百万円）
うち観光目的	113,248 百万円	（令和5年 114,119 百万円）
うちビジネス目的	61,185 百万円	（令和5年 52,825 百万円）
訪日外国人	13,999 百万円	（令和5年 10,245 百万円）

（1）観光入込客数（実）・観光消費額単価・観光消費額（山形県・日本人・観光目的）

令和6年	①観光入込客数（千人回）				②観光消費額単価（円/人回）				③観光消費額（百万円）			
	県内		県外		県内		県外		県内		県外	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
1-3月期	143	2,065	296	1,243	17,731	2,781	31,255	4,325	2,530	5,742	9,240	5,376
4-6月期	134	2,981	404	2,234	13,341	2,482	25,113	4,766	1,791	7,397	10,158	10,650
7-9月期	157	2,964	479	2,114	18,782	2,037	23,286	3,812	2,950	6,038	11,159	8,060
10-12月期	145	2,946	409	2,010	26,072	2,052	28,793	5,256	3,773	6,044	11,775	10,567
暦年	579	10,955	1,588	7,602	19,084	2,302	26,652	4,558	11,043	25,221	42,332	34,652

留意事項

- 観光地点等入込客数調査、観光地点パラメータ調査及び宿泊旅行統計調査（観光庁提供）をもとに推計（行祭事・イベントを除く）。
- ①観光入込客数は観光地点等ごとの重複を除いた実人数であり、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回と数える。
- ②観光消費額単価（円/人・回）は、観光入込客1人の1回の旅行における観光消費額を指す。
- ①観光入込客数と②観光消費額単価を掛け合わせることで、③観光消費額が算出されるが、端数の関係で一致しない場合がある。
- 暦年の合計は、端数の関係で四半期毎の合計と一致しない場合がある。

(2) 観光入込客数(実)・観光消費額単価・観光消費額(山形県・日本人・ビジネス目的)

令和6年	①観光入込客数(千人回)				②観光消費額単価(円/人回)				③観光消費額(百万円)			
	県内		県外		県内		県外		県内		県外	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
1-3月期	140	63	223	53	13,480	4,240	35,144	3,255	1,881	267	7,842	173
4-6月期	138	16	295	78	18,144	4,465	36,207	3,998	2,503	70	10,689	311
7-9月期	143	23	328	70	22,167	4,612	34,806	4,955	3,178	108	11,416	346
10-12月期	150	94	312	65	23,074	5,480	57,568	6,727	3,472	516	17,977	436
暦年	571	196	1,159	265	19,312	4,897	41,363	4,767	11,035	961	47,924	1,265

留意事項

- (1) 観光地点等入込客数調査、観光地点パラメータ調査及び宿泊旅行統計調査(観光庁提供)をもとに推計(行祭事・イベントを除く)。
(2) 観光地点パラメータ調査により把握されるビジネス客が対象となるため、必要十分なサンプル数を確保できず、誤差が大きい数値となっている場合がある。
(3) ①観光入込客数は観光地点等ごとの重複を除いた実人数であり、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回と数える。
(4) ②観光消費額単価(円/人・回)は、観光入込客1人の1回の旅行における観光消費額を指す。
(5) ①観光入込客数と②観光消費額単価を掛け合わせることで、③観光消費額が算出されるが、端数の関係で一致しない場合がある。
(6) 暦年の合計は、端数の関係で四半期毎の合計と一致しない場合がある。

(3) 観光入込客数(実)・観光消費額単価・観光消費額(山形県・訪日外国人)

令和6年	①観光入込客数(千人回)				②観光消費額単価(円/人回)				③観光消費額(百万円)			
	観光目的		ビジネス目的		観光目的		ビジネス目的		観光目的		ビジネス目的	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
1-3月期	39	17	25	0	52,445	13,691	150,278	15,570	2,038	231	3,741	0
4-6月期	17	32	10	0	37,134	15,171	166,940	19,616	628	480	1,702	0
7-9月期	14	7	10	0	19,838	12,828	122,459	9,272	287	96	1,257	0
10-12月期	19	38	17	0	31,103	13,472	147,029	18,315	577	516	2,447	0
暦年	89	94	62	-	39,756	14,030	147,541	-	3,530	1,322	9,147	-

留意事項

- (1) 観光地点等入込客数調査、観光地点パラメータ調査及び宿泊旅行統計調査(観光庁提供)、訪日外国人の消費額単価(観光庁提供)をもとに推計(行祭事・イベントを除く)。
(2) 観光地点パラメータ調査により把握される訪日外国人が対象となるため、必要十分なサンプル数を確保できず、誤差が大きい数値となっている場合がある。
(3) ①観光入込客数は観光地点等ごとの重複を除いた実人数であり、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回と数える。
(4) ②観光消費額単価(円/人・回)は、観光入込客1人の1回の旅行における観光消費額を指す。
(5) ①観光入込客数と②観光消費額単価を掛け合わせることで、③観光消費額が算出されるが、端数の関係で一致しない場合がある。
(6) 観光地点パラメータ調査において、サンプル数が無かったものについては「-」表記としている。
(7) 暦年の合計は、端数の関係で四半期毎の合計と一致しない場合がある。

(4) 観光地点数、行祭事・イベント数(地点数)

	統計								行催事・イベント
		観光地点計	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	
令和6年	290	231	30	64	43	39	25	30	59

留意事項

- 観光地点とは、次の①～③の要件を満たす地点であり、行祭事・イベントについては、②及び③を満たした地点(共通基準要件)
①月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満と判断される地点
②入込客数が適切に把握できる地点
③前年の入込客数が、年間1万人以上もしくは前年の特定月の入込客数が5千人以上である地点

(5) 観光地点、行祭事・イベント別観光入込客数(山形県・延べ)(千人)

令和6年	統計								行催事・イベント
		観光地点計	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	
1-3月期	6,985	6,190	270	1,015	1,452	864	817	1,772	794
4-6月期	11,441	9,766	863	1,754	1,496	916	1,011	3,726	1,675
7-9月期	12,642	9,953	684	1,805	1,686	899	1,074	3,806	2,689
10-12月期	9,199	8,591	495	1,604	1,565	583	1,009	3,335	608
暦年	40,267	34,500	2,312	6,178	6,199	3,262	3,911	12,639	5,766

留意事項

- (1) 観光地点及び行祭事・イベントの入込客数を共通基準における施設の種類別に集計。
(2) 上記は延べの人数であり、観光地点数ごとの重複を含んでいる。
(3) 端数の関係で総計と観光地点の内訳及び暦年と四半期毎の合計と一致しない場合がある。

V 参考資料一覧

- 参考資料 1 観光者数別観光地一覧（5 万人以上）
- 参考資料 2 主たる観光地別観光者数
- 参考資料 3 調査対象観光地
- 参考資料 4 宿泊旅行統計調査（令和 6 年 1 月～12 月）の概要
- 参考資料 5 令和 6 年外国人旅行者山形県内受入実績調査の結果

参考資料 1

観光者数別観光地一覧（5万人以上）

区分 類別	5万人以上 10万人未満	10万人以上 20万人未満	20万人以上 30万人未満	30万人以上 40万人未満	40万人以上 50万人未満	50万人以上 70万人未満	70万人以上 100万人未満	100万人以上
山 観 光 地		蔵王連峰 月山 鳥海山						
温 泉 観 光 地	太陽館（温泉） アイアイひらた まむろ川温泉 小野川温泉 添川温泉しらすぎ荘 野口温泉（ぼんぼ館） 瀬見温泉 湯こっと 鷹野湯温泉 りんご温泉 「おくのほそ道」 赤倉ゆけむり館 肘折温泉 由良温泉 柳川温泉	ぼっぼの湯 なの花温泉 百目鬼温泉 赤湯温泉 鳥海温泉 大石田温泉 八森温泉ゆりんこ 若あゆ温泉 川西温泉 寒河江温泉 くしき温泉ゆーTOWN ギャラリー温泉「町通」 水沢温泉	べに花温泉ひなの湯 山辺温泉 東根温泉 基点温泉 鳥海温泉 ひまわり温泉「ゆ・ら・ら」 やまぶし温泉ゆぽか テルメ 柏陵	天童殿上川温泉ゆびあ 寒河江花咲か温泉 ゆ〜チェリー 湯野浜温泉 銀山温泉	天童温泉	かみのやま温泉	蔵王温泉	
ス キ ー 場		月山スキー場		蔵王温泉スキー場				
海 水 浴 場	由良海水浴場	湯野浜海水浴場						
名 所・ 旧 跡 観 光 地	東沢バラ公園 白川ダム 湯殿山神社	鳥帽子山公園と八幡神社 三崎公園 谷地八幡宮 白つつじ公園 善宝寺	寒河江公園 最上公園 亀岡文殊 十六羅漢岩	熊野大社と双松公園 天童公園（舞鶴山）	徳良湖 大滝公園	羽黒山	松が岬公園 山寺	
観 光 道 路 等	鳥海ブルーライン			蔵王ライン			蔵王エコライン	
道 の 駅	月山あさひ博物村 高麗館	たかはた 月山銘水館 観光やな場 田沢	むらやま おおえ しゃりん しょうない ぶな茶屋	花笠の里ねまる あさひまち めざみの里観光物産館	川のみなと長井		わくわくランド	ふらっと 米沢 チェリーランド
そ の 他 の 観 光 地	西藏王公園 Asahi 自然観 ひがしねあそびあランド 慈恩寺テラス 山形美術館 山居館 面白山 旧長井小学校第一校舎 めんたま畑 弓張平運動公園 小倉交流館 前森高原 米の粉の滝ドライブイン さくらんぼ友遊館 県民の森 東光の酒蔵 さくらんぼ観光果樹園 FOODEVER	白糸の滝ドライブイン 御殿堰 山形テルサ Q1 文翔館 安久津八幡神社 日和山小幡楼 観光果樹園（南陽市） アグリランド東部産直センター 産直まゆの郷 産直たわわ 最上川三穀所そば街道 百万石の里しゃきと いちご畑 リナワールド JA山形おきたま 南陽産直センター（安東駅） 観光果樹園（東根市） 庄内おばこの里「こまぎ」	どおりむ産園直売所 山形魅力発信モール ふねおりかんこうセンター SAKATANTO 山形県産業科学館 大石田そば街道 みなと市場 市民直売所楽なポート おくのほそ道尾花沢そば街道 新産業創造館「クラッセ」	最上川ふるさと総合公園 産直あぐり さかた海鮮市場 加茂水族館 川の駅ヤナ茶屋もがみ 山形まるごと館 紅の蔵	清田夢の倶楽（山居倉庫） 庄内観光物産館 アグリランド産直センター	よってけボボラ		山形県観光物産会館

主たる観光地別観光者数

(単位：千人)

区分	観 光 地		令和 6 年度			令和 5 年度	前年度比 (%)
			合計	県内	県外		
山岳観光地	山岳観光地 計		497.0	270.8	226.2	614.2	80.9
	主な観光地	蔵王連峰	188.4	103.1	85.3	215.9	87.3
		月山	107.4	61.5	45.9	141.4	76.0
		鳥海山	105.6	55.7	49.9	136.8	77.2
		朝日連峰	45.7	20.2	25.5	50.5	90.5
		吾妻連峰	14.9	7.0	7.9	22.3	66.8
		御所山	11.8	9.0	2.8	11.5	102.6
温泉観光地	温泉観光地 計		8,368.1	5,644.4	2,723.7	8,125.9	103.0
	主な観光地	蔵王温泉	775.3	305.7	469.6	712.6	108.8
		かみのやま温泉	553.8	219.0	334.8	555.2	99.7
		天童温泉	485.0	220.5	264.5	480.9	100.9
		天童最上川温泉ゆびあ	396.1	357.0	39.1	384.8	102.9
		寒河江花咲か温泉 ゆ〜チェリー	368.2	241.4	126.8	356.9	103.2
		湯野浜温泉	324.4	147.7	176.7	311.6	104.1
		銀山温泉	306.8	123.0	183.8	334.1	91.8
		べに花温泉ひなの湯	299.8	279.9	19.9	292.0	102.7
		山辺温泉	284.2	281.7	2.5	270.2	105.2
		東根温泉	261.9	183.3	78.6	271.2	96.6
		碁点温泉	252.6	198.4	54.2	237.0	106.6
		あつみ温泉	236.6	86.0	150.6	239.5	98.8
		ひまわり温泉「ゆ・ら・ら」	223.9	208.9	15.0	224.2	99.9
		やまぶし温泉ゆぽか	209.8	205.6	4.2	202.5	103.6
		テルメ柏稜	206.8	186.1	20.7	199.7	103.6
スキー場	スキー場 計		864.3	441.8	422.5	726.9	118.9
	主な観光地	蔵王（スキー場）	352.3	130.5	221.8	304.4	115.7
		月山（スキー場）	107.0	42.8	64.2	108.2	98.9
		黒伏高原スノーパークJJ	46.9	23.6	23.3	48.8	96.1
		猿倉スキー場	38.4	32.3	6.1	31.9	120.4
		米沢（スキー場）	38.1	19.0	19.1	9.9	384.8
		花笠高原スキー場（御所山）	36.6	25.6	11.0	22.0	166.4
		たらのきだい（スキー場）	31.1	28.2	2.9	30.6	101.6
		天童高原スキー場	30.9	28.0	2.9	12.5	247.2
		湯殿山（スキー場）	29.8	16.3	13.5	33.7	88.4
		天元台高原（スキー場）	28.9	14.9	14.0	37.4	77.3
海水浴場	海水浴場 計		255.7	175.7	80.0	359.7	71.1
	主な観光地	湯野浜海水浴場	117.0	70.2	46.8	178.5	65.5
		由良海水浴場	66.8	46.8	20.0	90.4	73.9
		加茂レインボービーチ	38.5	34.6	3.9	27.8	138.5
		小波渡海水浴場	10.6	9.5	1.1	19.8	53.5
		マリnparkねずがせき	5.8	2.1	3.7	5.3	109.4

主たる観光地別観光者数

(単位：千人)

区分	観 光 地	令和6年度			令和5年度	前年度比 (%)
		合計	県内	県外		
名所・旧跡観光地	名所・旧跡観光地 計	6,224.6	3,093.8	3,130.8	6,004.9	103.7
	主な観光地					
	松が岬公園	869.0	260.8	608.2	819.0	106.1
	山寺	776.5	242.1	534.4	718.2	108.1
	羽黒山	570.3	315.5	254.8	597.9	95.4
	徳良湖	411.4	254.9	156.5	370.9	110.9
	大滝公園	409.5	137.9	271.6	348.0	117.7
	熊野大社と双松公園	307.5	110.2	197.3	402.0	76.5
	天童公園（舞鶴山）	306.3	153.5	152.8	266.3	115.0
	寒河江公園	273.9	245.4	28.5	229.5	119.3
	最上公園	256.8	233.2	23.6	254.3	101.0
	亀岡文殊	236.1	141.0	95.1	246.6	95.7
	十六羅漢岩	206.5	62.0	144.5	194.3	106.3
	烏帽子山公園と八幡神社	196.5	150.9	45.6	159.5	123.2
	三崎公園	144.6	43.3	101.3	136.0	106.3
	谷地八幡宮	115.2	96.2	19.0	95.7	120.4
	白つつじ公園	103.8	88.1	15.7	93.8	110.7
	善宝寺	101.4	40.5	60.9	107.4	94.4
観光道路等	観光道路等 計	1,223.6	591.9	631.7	1,257.9	97.3
	観光地					
	蔵王エコーライン	825.4	330.1	495.3	727.4	113.5
	蔵王ライン	313.8	219.6	94.2	421.0	74.5
	鳥海ブルーライン	84.4	42.2	42.2	109.5	77.1
道の駅	道の駅 計	9,494.8	4,225.2	5,269.6	8,538.1	111.2
	主な観光地					
	ふらっと	1,775.0	532.5	1,242.5	1,893.4	93.7
	米沢	1,708.3	512.5	1,195.8	1,711.9	99.8
	チェリーランド	1,667.4	980.6	686.8	827.2	201.6
	わくわくランド	777.6	194.0	583.6	800.6	97.1
	川のみなと長井	487.7	365.7	122.0	512.7	95.1
	花笠の里ねまる	377.2	154.9	222.3	374.0	100.9
	あさひまち	342.0	229.9	112.1	351.6	97.3
	めざみの里観光物産館	338.0	202.9	135.1	330.1	102.4
	むらやま	293.0	168.3	124.7	312.5	93.8
	おおえ	251.9	201.6	50.3	72.1	349.4
	しゃりん	243.2	85.3	157.9	238.8	101.8
その他の観光地	その他の観光地 計	14,361.6	8,943.6	5,418.0	13,036.4	110.2
	主な観光地					
	山形県観光物産会館	1,944.3	583.3	1,361.0	856.3	227.1
	よってけポボラ	628.5	439.1	189.4	640.3	98.2
	酒田夢の倶楽（山居倉庫）	477.3	328.4	148.9	508.9	93.8
	庄内観光物産館	437.5	275.5	162.0	447.0	97.9
	アグリランド産直センター	409.5	327.4	82.1	421.4	97.2
	最上川ふるさと総合公園	387.8	271.5	116.3	436.8	88.8
	産直あぐり	377.5	340.1	37.4	456.2	82.7
	さかた海鮮市場	377.3	270.0	107.3	369.9	102.0
	加茂水族館	373.7	251.4	122.3	382.7	97.6
	川の駅ヤナ茶屋もがみ	318.6	127.4	191.2	326.5	97.6
	山形まるごと館 紅の蔵	314.1	219.9	94.2	320.5	98.0
	どりいむ農園直売所	285.3	256.9	28.4	290.9	98.1
合 計		41,289.7	23,387.2	17,902.5	38,664.0	106.8

山岳観光地（11箇所、44登山口）

吾妻連峰（天元台、大平、滑川、姥湯、五色）
飯豊連峰（長者原、中津川）
朝日連峰（宮宿、古寺、大井沢、五味沢、大鳥口、長井、野川、草岡、白兔）
蔵王連峰（蔵王温泉、宝沢）
月山（羽黒口、湯殿山口、志津、本道寺、岩根沢）
葉山（畑、岩野、山ノ内）
御所山（鶴子、観音寺）
神室山（土内、山屋、向町、大堀、蒲沢、有屋）
加無山（大滝、鏡沢、小又）
摩耶山（倉沢口、関川、越沢）
鳥海山（蔵岡、吹浦、二の滝、湯の台）

温泉観光地（64箇所）

《村山地域》

蔵王、百目鬼（山形市）、花咲か温泉ゆ〜チェリー（寒河江市）、かみのやま（上山市）、基点（村山市）、天童、天童最上川（天童市）、東根（東根市）、銀山（尾花沢市）、山辺（山辺町）、ひまわり温泉（中山町）、べに花温泉ひなの湯（河北町）、水沢、月山志津、大井沢温泉館（西川町）、五百川、りんご（朝日町）、柳川、テルメ柏陵（大江町）、大石田（大石田町）

《最上地域》

神室（金山町）、瀬見、大堀、赤倉、せみの湯、「おくのほそみち」赤倉ゆけむり館（最上町）、若あゆ（舟形町）、まむろ川（真室川町）、肘折（大蔵村）、羽根沢（鮭川村）、草薙、野口（戸沢村）

《置賜地域》

白布、新高湯、小野川、滑川、姥湯、湯の沢、大平（米沢市）、赤湯、湯こっと（南陽市）、太陽館（高畠町）、川西（川西町）、飯豊、鷹野湯（白鷹町）、添川（飯豊町）

《庄内地域》

由良、湯田川、湯野浜、湯の瀬、あつみ、やまぶし、くしびき、ぼっぼの湯（鶴岡市）、湯の台、八森、松山、アイアイひらた（酒田市）、月の沢、ギャラリー温泉「町湯」（庄内町）、なの花（三川町）、湯ノ田、鳥海（遊佐町）

スキー場（22 箇所）

《村山地域》

蔵王温泉（山形市）、蔵王ライザ、猿倉（上山市）、天童高原（天童市）、黒伏高原スノーパーク・ジャングル ジャングル（東根市）、花笠高原（尾花沢市）、月山（西川町）、A s a h i 自然観（朝日町）

《最上地域》

新庄市民（新庄市）、赤倉温泉（最上町）、神室（金山町）、秋山（真室川町）、湯ノ台（大蔵村）

《置賜地域》

米沢、小野川温泉、天元台高原（米沢市）、横根（小国町）

《庄内地域》

羽黒山、たらのきだい、湯殿山（鶴岡市）、鳥海山、松山（酒田市）

海水浴場（11 箇所）

《庄内地域》

三瀬、由良、湯野浜、小波渡、加茂レインボービーチ、マリンパークねずがせき（鶴岡市）、宮海、飛島（酒田市）、西浜、十里塚、釜磯（遊佐町）

名所・旧跡観光地（76 箇所）

《村山地域》

山寺、唐松観音（山形市）、寒河江公園（寒河江市）、春雨庵、脇本陣滝沢屋（上山市）、東沢バラ公園（村山市）、天童公園（舞鶴山）、若松観音、御苦楽園、郡役所資料館、建勲神社、西沼田遺跡公園（天童市）、大滝公園、東根の大ケヤキ（東根市）、養泉寺、徳良湖（尾花沢市）、谷地八幡宮、岩木観音（河北町）、大沼浮島、榎平の棚田（朝日町）、水郷左沢、大山自然公園（大江町）、最上三十三観音（大石田町）

《最上地域》

最上公園、芭蕉乗船の地（新庄市）、封人の家、最上三十三観音（最上町）、猿羽根山公園（舟形町）、庭月観音（鮭川村）、最上峡芭蕉ライン観光、最上川舟下り義経ロマン観光（戸沢村）

《置賜地域》

松が岬公園、上杉家御廟、小野川大黒天、普門院（米沢市）、あやめ公園、はぎ公園、白つつじ公園、野川溪谷と木地山ダム、久保桜、古代の丘、文教の杜ながい（長井市）、熊野大社と双松公園、烏帽子山公園と八幡神社（南陽市）、亀岡文殊（高畠町）、置賜公園（タリヤ園・ハーブガーデン）（川西町）、大宮子易両神社（小国町）、白川ダム（飯豊町）

《庄内地域》

善宝寺、金峯山、南岳寺、致道館、旧風間家住宅丙申堂、羽黒山、大日坊、多層民家、荒沢ダム、湯殿山神社、念珠の松庭園、玉川寺、松ヶ岡開墾記念館、近世念珠関址（鶴岡市）、飛島、本間家旧本邸、海向寺、玉簾の滝、松山歴史公園、眺海の森、旧阿部家、山王くらぶ（酒田市）、白狐山光星寺、清川歴史公園（庄内町）、十六羅漢岩、三崎公園、旧青山本邸、熊谷神社（遊佐町）

観光道路等（3箇所）

《村山地域》

蔵王ライン(山形市)、蔵王エコーライン(上山市)

《庄内地域》

鳥海ブルーライン(遊佐町)

道の駅(21箇所)

《村山地域》

チェリーランド(寒河江市)、むらやま(村山市)、わくわくランド(天童市)、花笠の里ねまる(尾花沢市)、ぶらっとぴあ(河北町)、月山銘水館(西川町)、あさひまち(朝日町)、おおえ(大江町)

《最上地域》

高麗館(戸沢村)

《置賜地域》

田沢、米沢(米沢市)、川のみなと長井(長井市)、たかはた(高畠町)、ぶな茶屋(小国町)、観光やな場(白鷹町)、めざみの里観光物産館(飯豊町)

《庄内地域》

月山あさひ博物館、しゃりん(鶴岡市)、いろり火の里(三川町)、しょうない(庄内町)、ふらっと(遊佐町)

その他の観光地(150箇所)

《村山地域》

山形美術館、県立博物館、面白山、文翔館、最上義光歴史館、山形市郷土館、山寺芭蕉記念館、山形まるごと館「紅の蔵」、水の町屋七日町御殿堰、山形県観光物産会館、洗心庵、山形国際交流プラザ、山形県産業科学館、西蔵王公園、Q1、山形テルサ、山形魅力発信モール(山形市)、さくらんぼ観光果樹園、アグリランド産直センター、最上川ふるさと総合公園、アグリランド東部産直センター、さくらんぼ友遊館、慈恩寺テラス(寒河江市)、斎藤茂吉記念館、上山市観光果樹園、上山城、リナワールド、ZAOたいらぐら(上山市)、最上川三難所舟下り、最上川美術館、最上川三難所そば街道、観光さくらんぼ村(村山市)、天童市観光果樹園、天童高原キャンプ場、天童市美術館、出羽桜美術館、天童市将棋資料館、天童ワイン、じゃがらむら、将棋駒関連施設(天童市)、東根市観光果樹園、東の杜、よってけポポラ、ひがしねあそびあランド(東根市)、芭蕉・清風歴史資料館、花笠高原、おくのほそ道尾花沢そば街道(尾花沢市)、県民の森(山辺町)、児童動物園、紅花資料館、遊蔵(河北町)、弓張平公園、月山湖水の文化館、寒河江ダムスポーツ広場、県立自然博物館(西川町)、Asahi自然観、朝日町ワイン城、蔵の広場(朝日町)、小倉交流館(大江町)、歴史民俗資料館、大石田そば街道(大石田町)

《最上地域》

新庄ふるさと歴史センター、エコロジーガーデン、産直まゆの郷(新庄市)、遊学の森、街並み案内・マルコの蔵、産直ちょうほう屋(金山町)、前森高原、川の駅ヤナ茶屋もがみ、産直「高原の茶屋」(最上町)、アユパークふながた、長沢地区小国川多目的広場、産直「まんさく」、舟形町観光物産センター「めがみ」(舟形町)、歴史民俗資料館(真室川町)、鮭川村エコパーク、産直「さけまるくん」(鮭川村)、白糸の滝ドライブイン(戸沢村)

《置賜地域》

天元台(リゾート)、笹野民芸館、東光の酒蔵、さくらんぼ観光果樹園、宮坂考古館(米沢市)、市民直売所菜なポート、旧長井小学校第一校舎(長井市)、南陽市観光果樹園、南陽愛菜館、ワイナリー(大浦ぶどう酒、酒井ワイナリー、佐藤ぶどう酒、須藤ぶどう酒工房)、ゆーなび からころ館(南陽市)、安久津八幡神社、高畠ワイナリー、よねおりかんこうセンター、浜田広介記念館(高畠町)、かわにし森のマルシェ(川西町)、観光わらび園、白い森交流センター、美森マルシェ(小国町)、ふるさと森林公園、どりいむ農園直売所、しらたか産直「愛菜館」(白鷹町)、どんでん平ゆり園、源流の森(飯豊町)

《庄内地域》

加茂水族館、致道博物館、海洋釣堀、大宝館、本長漬物蔵、荘内神社宝物殿、ふるさとむら宝谷、鶴岡市観光果樹園、月山ダム展望台、足湯カフェ「チットモツェ」、六十里越街道、スタジオセディック庄内オープンセット、藤沢周平記念館、庄内観光物産館、東田川文化記念館、百万石の里しゃきっと、米の粉の滝ドライブイン、産直あぐり、庄内おばこの里「こまぎ」、F O O D E V E R、関川しな織りセンター(鶴岡市)、本間美術館と鶴舞園、酒田市立資料館、土門拳記念館、出羽遊心館、酒田市美術館、夕日の丘オートキャンプ場、相馬樓、北港緑地展望台、酒田夢の倶楽(山居倉庫)、さかた海鮮市場、海洋センター、鳥海高原家族旅行村、産直たわわ、めんたま畑、みなと市場、いちご畑、オランダせんべいF A C T O R Y、日和山小幡楼、S A K A T A N T O、山居館、酒田北港(酒田市)、産直みかわ(三川町)、亀ノ尾の里資料館、風車村、新産業創造館「クラッセ」(庄内町)、西浜キャンプ場、遊佐町農林漁業体験実習館さんゆう(遊佐町)

宿泊旅行統計調査（令和 6 年 1 月～12 月）の概要

I 宿泊旅行統計調査の目的等

我が国の宿泊旅行の実態を明らかにし、その結果を今後の観光政策の立案に活用することを目的に統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく一般統計調査として国土交通省観光庁が実施。

II 調査結果の概要

1 調査対象期間 令和 6 年 1 月から 12 月

2 調査対象施設 全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの全宿泊施設
全宿泊施設数： 72,384 施設

3 有効回収率

区分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
回収率(全体)	53.8%	53.1%	52.3%	56.0%	54.3%	52.8%

区分	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
回収率(全体)	55.7%	54.5%	53.7%	54.6%	53.1%	52.2%

4 集計結果の概要

令和 6 年延べ宿泊者数は約 6 億 5,906 万人泊であり、令和 5 年と比べ 6.7%増加した。うち外国人は約 1 億 6,447 万人泊であり、令和 5 年に比べ 39.7%増加した。全体に占める外国人の割合は 25.0%である。

(1) 都道府県別延べ宿泊者数

1 位の東京都が約 11,035 万人泊（宿泊者数全体に占めるシェア 16.7%）、2 位の大阪府が約 5,743 万人泊（同 8.7%）、3 位の北海道が約 4,463 万人泊（同 6.8%）、4 位の京都府が約 3,421 万人泊（同 5.2%）、5 位の沖縄県が約 3,128 万人泊（同 4.7%）であり、上位 5 都道府県で全国でのシェアは約 42%を占めている。

(2) 都道府県別外国人延べ宿泊者数

1 位の東京都が約 5,680 万人泊（外国人延べ宿泊者数全体に占めるシェア 34.5%）、2 位の大阪府が約 2,539 万人泊（同 15.4%）、3 位の京都府が約 1,694 万人泊（同 10.3%）、4 位の北海道が約 1,031 万人泊（同 6.3%）、5 位の福岡県が約 739 万人泊（同 4.5%）であり、上位 5 都道府県で全国でのシェアは約 71%を占めている。

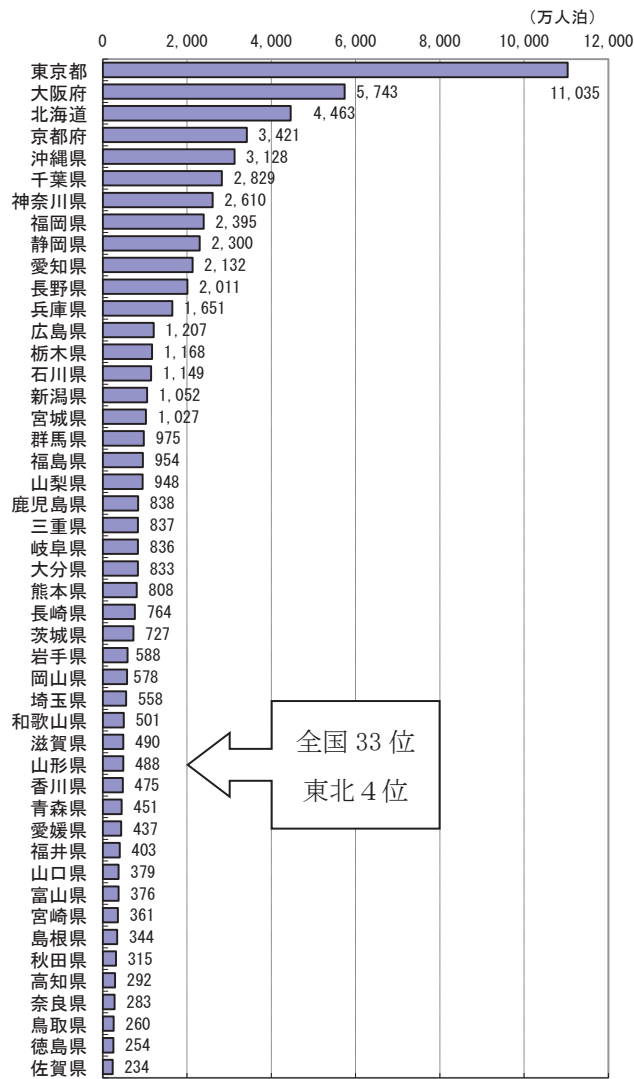
国籍（出身地）別に見ると、1 位が中国（同 18.2%）、2 位が台湾（同 13.3%）、3 位が韓国（同 13.0%）で、上位 3 か国で全体の約 45%を占める。

5 宿泊旅行統計における山形県の状況

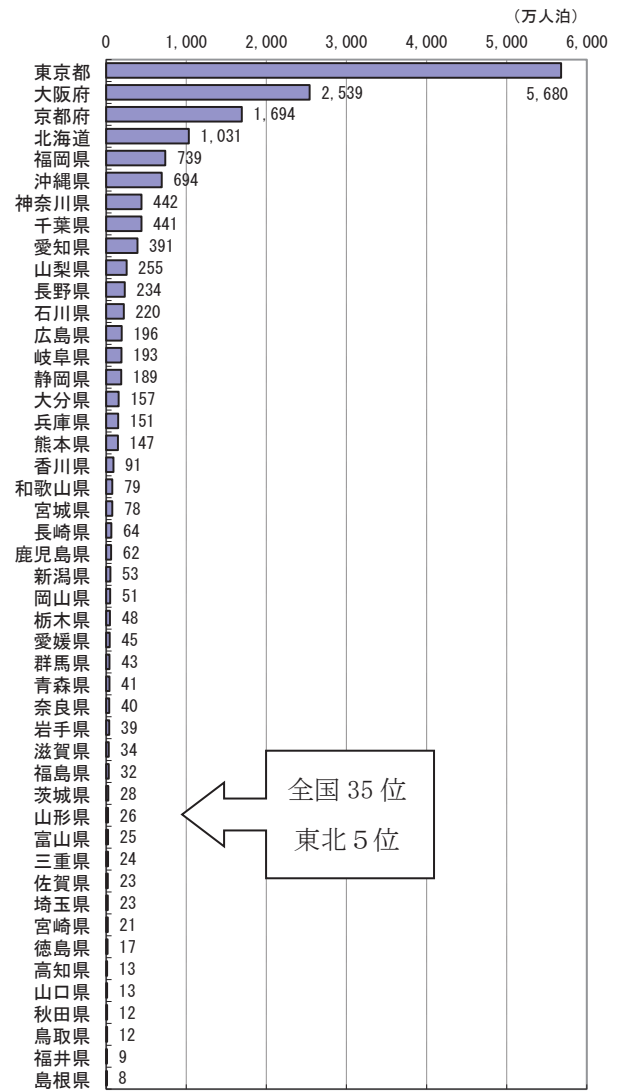
山形県の宿泊者数は、約 488 万人泊であり、令和 5 年と比べ 6.8%増加した。うち外国人宿泊者数は約 25.6 万人泊であり、令和 5 年に比べ 43.3%増加した。

全国での位置づけは、宿泊者数は、全国 33 位（令和 5 年 34 位）、東北 4 位（同 4 位）、外国人宿泊者数は全国 35 位（同 37 位）、東北 5 位（同 5 位）となっている。

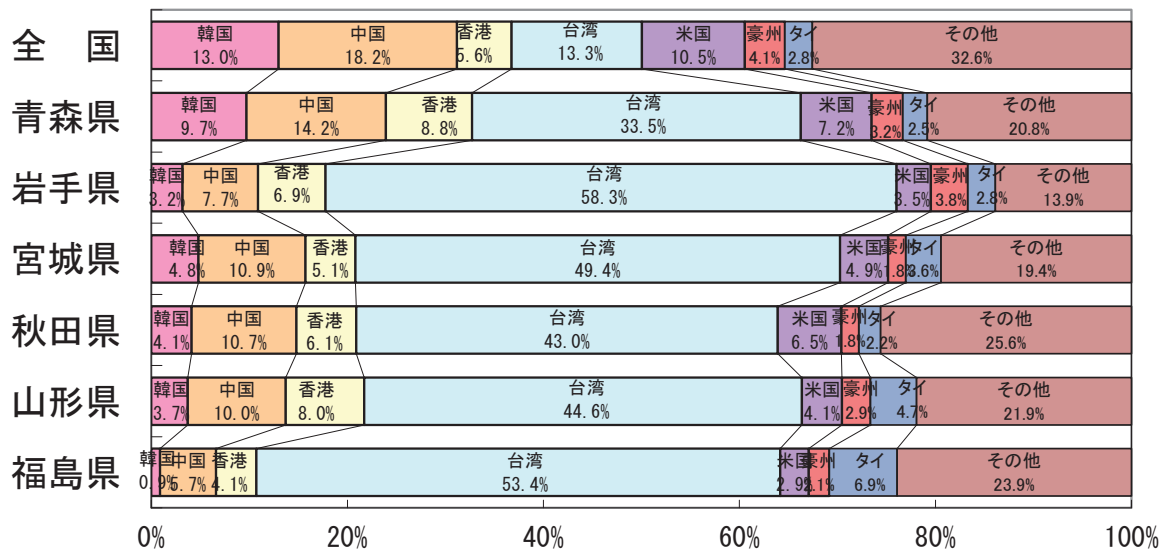
都道府県別延べ宿泊者数（令和6年）



都道府県別外国人延べ宿泊者数（令和6年）



国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者の割合



※従業者数 10 人以上の施設に対する調査から作成

令和 6 年外国人旅行者県内受入実績調査の結果について

1 調査方法

- ① 宿泊者数：観光庁宿泊旅行統計（確定値）、従業者数 10 人以上の宿泊施設が対象
- ② 立寄者数：立寄 35 市町村 114 地点へのアンケート調査（イン・アウトバウンド推進課 調べ）

2 調査結果

○受入延人数 618,549 人 （前年増減率 153.9%、216,601 人増）

○概況

令和 6 年（1～12 月）における外国人旅行者受入延人数（宿泊者数＋立寄者数）は、令和 5 年に引き続き 2 年連続で過去最高となった。

【主な市場別の動向】

市 場 (構 成 比)	受 入 延 人 数	順 位
台 湾 (55.1%)	340,563 人（前年比 177.2%、148,376 人増）	1 位
韓 国 (3.0%)	18,551 人（前年比 145.7%、5,819 人増）	6 位
香 港 (5.2%)	32,010 人（前年比 129.7%、7,336 人増）	3 位
中 国 (6.1%)	37,643 人（前年比 151.1%、12,731 人増）	2 位
米 国 (3.7%)	22,758 人（前年比 125.8%、4,664 人増）	5 位
豪 州 (1.7%)	10,241 人（前年比 122.3%、1,865 人増）	10 位
タ イ (3.0%)	18,323 人（前年比 92.6%、1,462 人減）	7 位
シンガポール (2.2%)	13,370 人（前年比 109.4%、1,150 人増）	8 位
マレーシア (1.8%)	10,867 人（前年比 86.4%、1,704 人減）	9 位
欧 州 (4.0%)	24,668 人（前年比 115.1%、3,228 人増）	4 位

※「欧州」の受入延人数はイギリス・ドイツ・フランス・イタリア・スペインの受入延人数の合計

令和6年 外国人旅行者県内受入実績調査結果

調査対象期間:令和6年1月～12月
調査対象施設:県内宿泊施設(従業者数10人以上)(出典:観光庁宿泊旅行統計(確定値))、立寄35市町村114地点(県イン・アウトバウンド推進課調)

1. 市場別内訳												(単位:人)
	合計	台湾	韓国	香港	中国	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	マレーシア	欧州	その他
宿泊者数	211,080	94,090	7,810	16,960	21,200	8,660	6,180	9,980	6,780	5,230	7,530	21,670
立寄者数	407,469	246,473	10,741	15,050	16,443	14,098	4,061	8,343	6,590	5,637	17,138	62,895
合計(延受入数)	618, 549	340, 563	18, 551	32, 010	37, 643	22, 758	10, 241	18, 323	13, 370	10, 867	24, 668	84, 565
(参考)												
R5年延受入数	401,948	192,187	12,732	24,674	24,912	18,094	8,376	19,785	12,220	12,571	21,440	50,487
R1年延受入数	388,928	226,471	11,824	21,944	21,586	12,517	7,466	19,177	6,498	3,312	—	56,373

※ 宿泊者数の合計には国籍不明者が含まれるため、国・地域別の宿泊者数を足し上げた数値と一致しない。
※ 「欧州」はイギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スペインの足し上げ。令和3年より調査を追加しており、令和元年の「その他」は「欧州」も含んでいる。

2. 受入地域別内訳(宿泊者数と立寄者数の計)												
	合計	台湾	韓国	香港	中国	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	マレーシア	欧州	その他
村山	367,581	208,956	11,555	21,574	26,333	11,867	6,519	14,079	9,407	8,406	10,785	38,100
最上	28,614	22,492	468	1,290	772	484	451	469	324	242	336	1,286
置賜	74,504	60,210	485	1,741	2,421	2,893	120	824	696	594	966	3,554
庄内	85,923	22,834	3,764	2,744	1,809	5,110	1,357	338	1,089	248	10,284	36,346

※1. 市場別内訳の宿泊者数は調査票未回収分について推計しているが、2.受入地域別内訳の宿泊者数は調査票回収分の足し上げであるため、各数値は一致しない。

<参考:令和5年(1月～12月)の調査結果>

	合計	台湾	韓国	香港	中国	アメリカ	オーストラリア	タイ	シンガポール	マレーシア	欧州	その他
宿泊者数	137,670	46,950	4,730	14,230	11,750	6,380	3,990	10,620	6,310	5,780	5,620	16,840
立寄者数	264,278	145,237	8,002	10,444	13,162	11,714	4,386	9,165	5,910	6,791	15,820	33,647
合計(延受入数)	401,948	192,187	12,732	24,674	24,912	18,094	8,376	19,785	12,220	12,571	21,440	50,487
対前年比率	153.9%	177.2%	145.7%	129.7%	151.1%	125.8%	122.3%	92.6%	109.4%	86.4%	115.1%	167.5%

〔出典〕 宿泊者数 観光庁宿泊旅行統計(確定値)、立寄者数 県イン・アウトバウンド推進課調

令和 6 年度山形県観光者数調査

印刷・発行 令和 7 年 10 月

編集・発行 山形県

観光文化スポーツ部 観光交流拡大課

〒990-8570 山形市松波二丁目 8 番 1 号

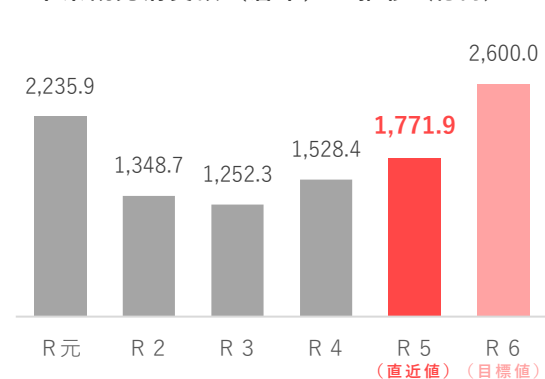
TEL 023-630-3246

<https://www.pref.yamagata.jp/>

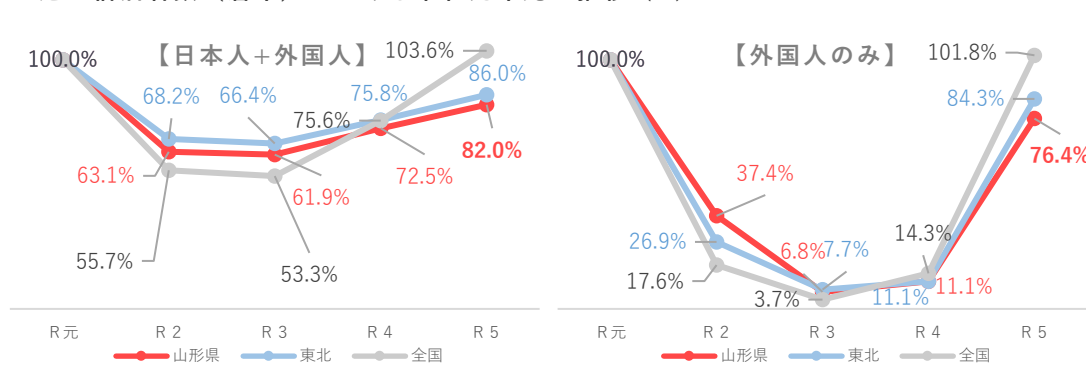
本県観光産業を巡る現状

- 数値目標（観光消費額）は、**新型コロナウイルスの影響**により策定時を下回っている。
- 観光需要の回復等により、外国人受入数をはじめ多くの指標がコロナ禍から回復している一方で、**全国と比較すると回復速度は鈍い状況にある。**

< 本県観光消費額（暦年）の推移（億円） >



< 延べ宿泊者数（暦年）における令和元年比の推移（％） >



本県観光における課題

- 国内外の旅行者の多様なニーズ・嗜好に応えるため、データ分析に基づき、DMOなど地域が一体となって地域資源の価値に光を当て、深掘りし、魅力ある観光コンテンツとして開発することが必要。
- 国内需要が縮小する中においては、高付加価値旅行者層をはじめとした旺盛なインバウンド需要を本県に広く取り込む取組みが不可欠。
- 観光産業における深刻な人手不足に対応するため、観光DXの推進等を通じた経営効率化や、将来の本県観光産業の重要な担い手となる人材の育成が急務。
- 人口減少・少子高齢化が避けられない中、交流人口・関係人口の拡大による地域活性化を実現するためには、すそ野の広い観光産業が地域経済の牽引役としての取組みを押し進めることが必要。

計画の概要（計画期間：令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間）

【観光立県としての山形県のあるべき姿（基本目標）】

本県観光産業を巡る現状や課題を踏まえつつ、観光立県としての山形県のあるべき姿を基本目標として設定。

観光消費額の拡大・多様な交流・地域資源の継承を通じた地域活性化による「持続可能な観光地域の確立」を目指す

【施策展開の方向性】

- おもてなし山形県観光条例における基本的施策を踏まえつつ、観光消費額の単価上昇を伴った拡大と、観光産業の持続的発展を実現するため、**本県が世界に誇る観光資源を最大限に活用しながら、3つの「施策の柱」に基づいた観光振興施策を展開する。**
- さらに、昨今の観光産業を巡る状況に対応するため、特に優先度が高く注力すべき3分野を「重点プロジェクト」として設定し、施策を強力に推進する。
- 数値目標については、観光消費額における「質的な変化」を確認するため、新たに「観光消費額単価」を設定する。

【地域活性化・持続可能な観光地域づくり戦略】

（3つの「A」による施策展開）



重点プロジェクト

- I. イン・アウトバウンドも含めた交流人口・関係人口の拡大と高付加価値化
- II. DXの推進や観光産業を支える人材の育成
- III. すべての人々を受け入れるアクセシブルツーリズムの推進

数値目標

- 観光消費額：2,600億円（日本人2,300億円、訪日外国人300億円）
（直近値（R5）：約1,772億円（日本人約1,669億円、訪日外国人約102億円）、
コロナ禍前（R元）：約2,236億円（日本人約2,131億円、訪日外国人約105億円））
- 【新規】観光消費額単価（県外客（宿泊））：38,900円/人回
（直近値（R5）：31,799円/人回、コロナ禍前（R元）：29,588円/人回））
- 【新規】観光消費額単価（訪日外国人（宿泊））：58,700円/人回
（直近値（R5）：38,933円/人回、コロナ禍前（R元）：28,923円/人回））

第3次おもてなし山形県観光計画 施策体系

【施策の柱1】 「本物の価値」の追求による稼ぐ力の向上		【施策の柱2】 「人材×DX」による 観光産業の活性化	【施策の柱3】 地域一体となった すべての人にやさしい観光地づくり
＜重点プロジェクトⅠ＞ イン・アウトバウンドも含めた交流人口・関係人口の 拡大と高付加価値化		＜重点プロジェクトⅡ＞ DXの推進や観光産業を 支える人材の育成	＜重点プロジェクトⅢ＞ すべての人々を受け入れる アクセシブルツーリズムの推進
A 観光資源・ コンテンツ	① 山形の強みを活かした高付加価値旅行者層に通じる滞在型観光コンテンツ・ツーリズムの造成 ② 蔵王、銀山に続く新たな核となる観光地づくりの推進 ③ 魅力ある観光土産品の開発促進と販売チャネルの充実 ④ 潜在的可能性を持つ地域資源の観光コンテンツ化に対する理解促進 ⑤ 異業種・学術機関等と連携した観光コンテンツの開発 ⑥ 県域（国境）を越えた地域間連携・官民連携での広域周遊ルートの造成	① データ分析に基づいた観光コンテンツの造成 ② DMOを中心とした地域資源活用コンテンツの造成	① 環境保全や地域文化継承など持続可能性を考慮した観光コンテンツの開発 ② 障がい者や高齢者も楽しめる観光コンテンツの開発 ③ 地産地消の推進 ④ 観光需要の平準化の促進
	B 情報発信・PR	① DMP活用などデータ分析に基づいた個別最適な情報発信・プロモーション ② AI等デジタル技術の活用によるリアルタイムでの観光案内の充実 ③ 認知から予約・来訪までデジタルでシームレスに繋がる仕組みの構築 ④ XR等の先端技術を活用した情報発信 ⑤ 「地域に暮らす人」が見える情報発信の充実	① デジタルデバイスやアプリケーションを活用したバリアフリー・多言語対応 ② レスポンシブルツーリズム（責任ある観光）の普及・啓発 ③ MICEの誘致推進
C 環境・ インフラ	① 高付加価値旅行者等の多様なニーズを満たす宿泊施設の改修・誘致 ② 新たな旅行スタイルに対応した受入環境の整備 ③ 道路交通網をはじめとする社会資本整備の促進 ④ 高付加価値旅行者や交通弱者を視野に入れた二次交通の充実 ⑤ 東北のハブ空港である仙台空港との連携強化・アクセス向上 ⑥ 本県インバウンドの新たな玄関口となる新潟空港との連携強化	① 観光MaaaSの導入促進・ライドシェアの導入等による移動手段の確保 ② 観光関連施設等におけるWi-Fi環境やキャッシュレス環境の整備促進	① アクセシブルツーリズムの推進（年齢、性別、障がいの有無、国籍等に関わらず旅行を楽しめる環境づくり） ② 観光地における良好な景観の形成促進 ③ 自然災害や感染症等に対応した、安全・安心な旅行環境の整備 ④ 多言語案内表記の整備充実 ⑤ オーバーツーリズムへの対応
D 受入態勢	① 高付加価値旅行者に対応したノウハウの習得 ② 観光事業者の高付加価値化に向けた取組みの支援 ③ 高付加価値な観光地づくりの根幹となるプロフェッショナルガイドの発掘・育成	① 将来の本県観光を牽引する観光人材の確保・育成 ② DX推進による広域連携と観光デジタル人材の育成 ③ 「勘」や「経験」から脱却した、観光産業におけるデータドリブン経営の展開 ④ 統計情報やデジタルデータのシェアリングとオープン化 ⑤ デジタルを活用し人手不足に対応した業務効率化・生産性向上 ⑥ 即戦力となる外国人材の活用と受入環境の整備	① 観光事業者やDMO、地域観光協会における持続可能な経営体制の確立 ② 観光産業における働き方改革の推進（「働く場」としての観光産業の魅力向上） ③ 後世に伝えるべき地域資源の保全・活用 ④ 歴史・文化、自然など郷土の魅力を学び発信する機会の充実 ⑤ 戦略的・持続的な観光地経営に向けた関係組織の整理・統合 ⑥ 共生・共創の精神によるホスピタリティの向上
	【山形県が世界に誇る地域資源を活用したツーリズム（主なもの）】 ✓ 精神文化ツーリズム：出羽三山や山寺、本山慈恩寺、即身仏、草木塔、やまがた出羽百観音に代表される歴史や精神文化 ✓ アドベンチャーツーリズム：四季折々に表情を変える豊かな自然を活用したアクティビティ ✓ ガストロノミーツーリズム：自然の恵みを受けて大切に育まれてきた高品質な美食・美酒 ✓ フルーツ・ツーリズム：さくらんぼに代表される県産フルーツ ✓ スノーツーリズム：雪国としての暮らしが育んだ文化、観光資源としての魅力を持った「雪」 ✓ 山岳ツーリズム：日本百名山の鳥海山や蔵王山に代表される山岳 ✓ 温泉ツーリズム：全市町村から湧き出る豊かな温泉 ✓ 星空ツーリズム：全国有数のきれいな空気が映し出す満天の夜景 ✓ スポーツツーリズム：県内におけるプロスポーツや、スキーやサイクリングなどアクティビティとしてのスポーツ ✓ カルチャーツーリズム：山形県総合文化芸術館や山形交響楽団、山形美術館等が生み出す芸術文化 ✓ 産業ツーリズム：伝統に裏打ちされた技術力と堅実な県民性が育んだ高品質なモノづくり ✓ インフラツーリズム：月山ダムや酒田港など、スケールや景観を楽しむ観光資源としてのインフラ ✓ アグリツーリズム：農業体験や農家民宿、農家レストランに代表される田舎暮らし		◆ 太字箇所は、重点プロジェクトを指す

第3次おもてなし山形県観光計画 重点プロジェクトの概要

【施策の柱1】 「本物の価値」の追求による 稼ぐ力の向上 ～Promoting high Added value～

国内需要が縮小し、人数ベースでの大幅な回復・拡大が困難となる中、本県が誇る多様な観光資源を、旅行者のニーズを満たす「本物の価値」を持った観光コンテンツや旅行商品として造成・販売するほか、海外の高付加価値旅行者層などに確実に届けるためのプロモーションの展開や、質の高い受入環境の整備等、稼ぐ力を向上するための取組みを進めていきます。

<重点プロジェクトI> イン・アウトバウンドも 含めた交流人口・関係人口の 拡大と高付加価値化



精神文化ツーリズム
(出羽三山 山伏修行体験)



アドベンチャーツーリズム
(白川湖の水没林での
カヌーツアー)



フルーツ・ツーリズム
(さくらんぼ狩り体験)



スノーツーリズム
(月山志津温泉
「雪旅籠の灯り」)



山岳ツーリズム
(鳥海山トレッキング体験)



ヒストリーツーリズム
(黒川能「水焰の能」)

山形の強みを活かした高付加価値旅行者層に通じる滞在型観光コンテンツ・ツーリズムの造成【視点A】

- 精神文化や豊かな自然、温泉、県産農産物、美食・美酒など、本県が世界に誇る多様な観光資源について、「世界中で山形でしか味わえない本物の体験」にアップデートした、何度も訪れてもらえる観光コンテンツとして県内各地で造成する取組みを促進します。
- 長期滞在（宿泊・滞在型観光）に繋げるため、主要な観光スポットを起点に、それぞれの観光資源を魅力的なストーリーで、「点」から「線」・「面」へ繋ぐ周遊ルートの開発を促進します。
- 令和6年9月、観光庁が行う「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」事業のモデル観光地として、本県全域が選定されました。高付加価値旅行者から本県に訪れていただくため、必要なウリ（高付加価値旅行者のニーズを満たす滞在価値）、ヤド（上質かつ地域のストーリーを感じられる宿泊施設）、ヒト（地方への送客、ガイド、ホスピタリティ）、コネ（海外高付加価値層とのネットワーク、情報発信）+アシ（利便性・快適性の高い移動手段）の5つの観点で策定する「マスタープラン」に基づき、付加価値の高い観光地域づくりや観光人材の育成等を進めていきます。

蔵王、銀山に続く新たな核となる観光地づくりの推進【視点A】

- 蔵王や銀山温泉など本県でも観光客が過度に集中している観光地がある中、その効果を県内全域へ波及させるとともに、観光客の分散・周遊の促進を図るためには、こうした観光地に続く本県にとって新たな核となる観光地が必要です。先行する観光地の成功要因を分析・理解しながら、新たな核となる観光地づくりを集中的に推進します。

インバウンド重点地域の設定・海外高付加価値旅行者層に精通する旅行会社等とのコネクション形成と情報発信ツールの活用【視点B】

- これまで重点地域として取り組んできた台湾、中国、韓国からの誘客を引き続き推進するとともに、所得水準が高く、訪日リピーターの多い、香港、A S E A N（特にシンガポール）からの積極的な誘客を図ります。
- 欧州、米国、豪州の各市場については、精神文化体験、伝統や食文化、スノーリゾートとしての魅力への関心が高く、本県への旅行者数も増加傾向にあり、近年は本物の日本らしさへの興味・関心が高まっていることから、引き続き重点地域としてさらなる誘客促進と旅行消費額の向上に向けて取り組んでいきます。

アウトバウンドや教育旅行等を通じた相互交流の拡大【視点B】

- 本県におけるインバウンドの拡大を進めるためには、本県からも積極的に海外へ赴き、相互に交流を深めることが重要であり、また県内の観光人材育成の観点からも有用です。県民のアウトバウンドに対するマインドの醸成を図るとともに、パスポート取得促進等により、アウトバウンドの拡大を図ります。
- 将来、国内外の若者から本県が旅行先として選ばれるよう、農林や商工など他部門と連携しながら、本県ならではの体験型のプログラムの学習・開発・提供等を通して教育旅行の誘致強化を図るとともに、本県を訪れるリピーターを増やすことによって関係人口の拡大に繋げていきます。

東北のハブ空港である仙台空港との連携強化・アクセス向上【視点C】

- 東北エリアにおけるインバウンドの玄関口として中心的な役割を担っている仙台空港との連携強化を図るとともに、仙台空港を利用したインバウンド向け周遊プランの造成や高速バス直行便の運行等を通して、外国人旅行者に対する本県の認知度アップや仙台空港からのアクセス向上などを図ります。

高付加価値な観光地域づくりの根幹となるプロフェッショナルガイドの発掘・育成【視点D】

- 県内の観光資源に関する幅広く深い知識を持ち、旅行の各行程において旅行者のニーズに応じたきめ細やかな説明・案内サービスを提供できるプロフェッショナルガイドの発掘・育成や、各地で活動するボランティアガイドを含めた、ガイド間における交流・情報共有等を推進します。

第3次おもてなし山形県観光計画 重点プロジェクトの概要

【施策の柱2】 「人材×DX」による 観光産業の活性化 ～Raising **A**ce of Yamagata～

観光のあらゆる側面でのデジタルシフトを進めるとともに、旅行者の利便性向上や観光事業者の経営力強化を図るため、使い手となる「人材」のデジタルリテラシーの向上も含め取組みを強化していきます。加えて、「人」による温度感のあるおもてなしなど、「リアル」と「デジタル」双方の利点を活かしながら、観光産業全体としての活性化を進めていきます。

＜重点プロジェクトⅡ＞ DXの推進や観光産業を支える人材の育成

DMOを中心とした地域資源活用コンテンツの造成【視点A】

- ・地域に眠る価値ある資源を掘り起こし、他にはない魅力ある観光コンテンツとして磨き上げる好循環を続けるため、（公社）山形県観光物産協会をはじめ県内各地のDMOを中心とした地域資源を活用した観光コンテンツづくりや広報宣伝に係る取組みを促進し、県内各地域の魅力アップと更なる地域活性化を図ります。

DMP活用などデータ分析に基づいた個別最適な情報発信・プロモーション【視点B】

- ・県公式観光ポータルサイトや各種SNS、東北観光DMP等で得られたデータを基に旅行者の動向分析を行うとともに、旅行者個々人の嗜好に沿った観光情報をプッシュ型で発信するなど、情報発信・プロモーションの個別最適化を進めます。

DX推進による広域連携と観光デジタル人材の育成【視点D】

- ・混雑しているエリアにいる旅行者に対して、近隣エリアのおすすめ観光スポット情報や宿泊施設の空き状況、交通アクセス等をタイムリーに発信し、実際の予約や交通手段の確保まで一元的に誘導するなど、DX推進による広域連携を進め、旅行者の県内長期滞在・周遊促進に繋げていきます。
- ・各種セミナーの開催や専門家による伴走支援等を通して、観光デジタル人材の育成を進めていきます。

デジタルを活用し人手不足に対応した業務効率化・生産性向上【視点D】

- ・自動・非接触のチェックイン・チェックアウトシステムによる人員配置の効率化や、PMSによる在庫管理の最適化、ビジネスチャットによる従業員のコミュニケーションの円滑化等、人手不足が深刻化する中におけるデジタルを活用した業務効率化・生産性向上に向けた取組みを促進します。

【施策の柱3】 地域一体となった すべての人にやさしい観光地づくり ～Establishing **A**ccessible tourism～

個人旅行化の進展に伴う、旅行者個人が持つ背景や価値観の多様化が進む中、本県が世界から選ばれる観光地へと成長するため、国内外の旅行者における多様性を認め、すべての人々が安全で快適な旅行を楽しむことができるやさしい観光地づくりを、ハード・ソフトの両面から地域一体となって進めていきます。

＜重点プロジェクトⅢ＞ すべての人々を受け入れる アクセシブルツーリズムの推進

障がい者や高齢者も楽しめる観光コンテンツの開発【視点A】

- ・観光関係事業者におけるバリアフリーに関する知識や理解を深めるための機会を充実するとともに、バリアフリー化の進んだ観光施設や宿泊施設、観光地や温泉地などにおける観光介助や入浴介助、目や耳の不自由な方に対応した案内サービスなど、「障がい者や高齢者も楽しめる」ための視点を持った観光コンテンツの開発を進めていきます。

デジタルデバイスやアプリケーションを活用したバリアフリー・多言語対応【視点B】

- ・県内の各観光施設と連携し、スマートフォンなどのデジタルデバイスを活用したインバウンド対応のための多言語対応や、視覚や聴覚に障がいのある方に向けたガイドをスマートフォン上で行うなどのバリアフリー対応等の導入に向けた取組みを進めます。

アクセシブルツーリズムの推進

（年齢、性別、障がいの有無、国籍等に関わらず旅行を楽しめる環境づくり）【視点C】

- ・「観光施設における心のバリアフリー認定制度」の活用促進や、観光施設等におけるバリアフリー情報の充実、本県独自の「入浴着着用マーク」の掲出促進、観光関連施設におけるバリアフリー化に向けた改修への支援、リフト付きバス等の導入促進等を通し、誰もが旅行を楽しめるアクセシブルツーリズムの推進に取り組みます。

共生・共創の精神によるホスピタリティの向上【視点D】

- ・持続可能な観光の実現に向け、県はもとより、市町村や事業者、関係団体、県民など、すべての主体が一体となって本県の魅力を発信するとともに、来県者に対して笑顔で接する意識の醸成を図るなど、共生・共創の精神によるホスピタリティの向上に取り組みます。

おもてなし山形県観光計画における「数値目標」及び「参考管理指標」の進捗状況について

資料 2 - 2

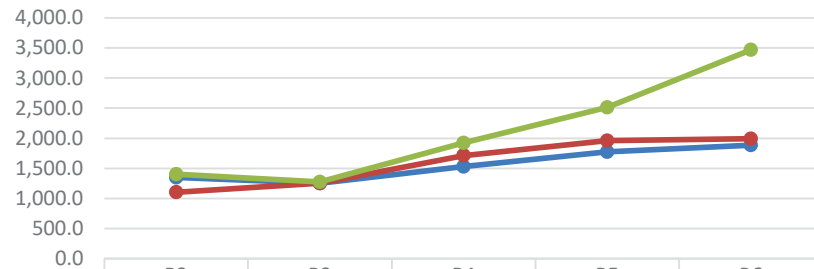
数値目標	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	計画最終年 令和6年 (目標)
観光消費額(年)	2,048.1億円	2,168.4億円	2,176.9億円	2,235.9億円	1,348.7億円	1,252.3億円	1,528.4億円	1,771.9億円	1,884.3億円	2,600億円
前年比	101.6%	105.9%	100.4%	102.7%	60.3%	92.9%	122.0%	115.9%	106.3%	2,400億円
観光消費額(年) (日本人)	2,027.8億円	2,135.4億円	2,111.5億円	2,131.1億円	1,299.4億円	1,252.3億円	1,528.4億円	1,669.4億円	1,744.3億円	200億円
前年比	102.1%	105.3%	98.9%	100.9%	61.0%	96.4%	122.0%	109.2%	104.5%	
観光消費額(年) (訪日外国人)	20.3億円	33.0億円	65.4億円	104.8億円	49.3億円	母数の不足により 把握できず	母数の不足により 把握できず	102.5億円	140.0億円	
前年比	72.8%	162.6%	198.2%	160.2%	47.0%	—	—	—	136.6%	
参考管理指標	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	計画最終年 令和6年 (目標)
観光者数(年度)	45,814 千人	45,122 千人	46,507千人	45,312千人	27,511 千人	30,059 千人	36,034 千人	38,664 千人	41,290 千人	50,000 千人
前年比	102.0%	98.5%	103.1%	97.4%	60.7%	109.3%	119.9%	107.3%	106.8%	6,000,000 人泊
延べ宿泊者数(年)	5,443,790 人泊	5,242,180 人泊	5,431,360 人泊	5,571,860 人泊	3,513,220 人泊	3,451,400 人泊	4,040,420 人泊	4,566,630 人泊	4,877,700 人泊	600,000 人
前年比	91.1%	96.3%	103.6%	102.6%	63.1%	98.2%	117.1%	113.0%	106.8%	400,000 人泊
外国人受入数(年) ※1	127,731 人	190,639 人	252,289 人	388,928 人	125,930 人	17,083 人	56,051 人	401,948 人	618,549 人	全国平均値以上
前年比	131.9%	149.3%	132.3%	154.2%	32.4%	13.6%	328.1%	717.1%	153.9%	
延べ外国人宿泊者数(年)	88,200 人泊	117,860 人泊	163,460 人泊	234,050 人泊	87,440 人泊	15,920 人泊	25,900 人泊	178,790 人泊	256,130 人泊	
前年比	116.5%	133.6%	138.7%	143.2%	37.4%	18.2%	162.7%	690.3%	143.3%	
平均宿泊数(年)	1.29泊	1.28泊	1.32泊	1.28泊	1.32泊	1.42泊	1.42泊	1.35泊	1.34泊	350万件
前年比	100.0%	99.2%	103.1%	97.0%	103.1%	107.6%	100.0%	95.1%	99.3%	
<参考>全国平均値(年)	1.32泊	1.32泊	1.33泊	1.34泊	1.33泊	1.33泊	1.35泊	1.41泊	1.43泊	
前年比	99.2%	100.0%	100.8%	100.8%	99.3%	100.0%	101.5%	104.4%	101.4%	
県観光HPアクセス数(セッション) (年度)	—	—	229 万件	242 万件	162 万件	215 万件	365 万件	409 万件	387 万件	
前年比	—	—	—	106%	67%	133%	170%	112%	95%	
観光満足度(年度) ※2	NPS 16.4 P	NPS 18.7 P	NPS 17.0P	NPS 23.6P	29.6%	29.2%	35.0%	34.6%	39.6%	40.0%

※1 外国人受入数は従業者数9人以下の施設の延べ宿泊者は含めていない。
※2 令和2年度からは、「6段階評価で最も高い評価の割合」を算出している。なお、第1次計画期間である令和元年度までは、「NPS(ネットプロモータースコア)」を算出。

ベンチマーク(岩手県、大分県)との比較

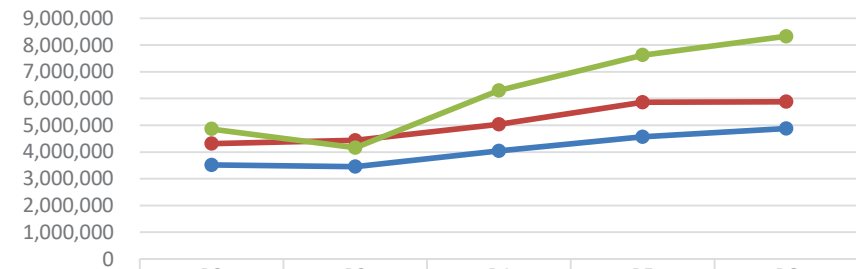
資料2-2-2

観光消費額(億円)



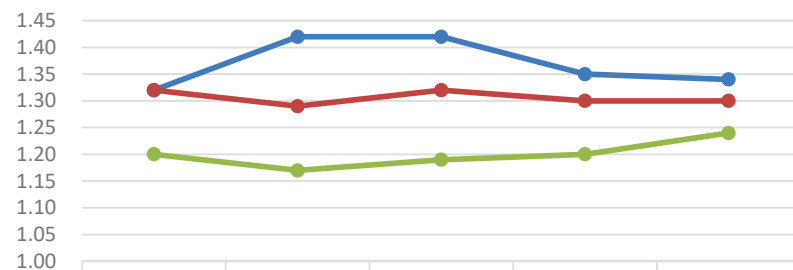
	R2	R3	R4	R5	R6
山形県	1,348.7	1,252.3	1,528.4	1,771.9	1,884.3
岩手県	1,101.5	1,254.0	1,712.8	1,960.6	1,992.7
大分県	1,400.7	1,274.7	1,924.0	2,514.9	3,468.5

延べ宿泊者数(人泊)



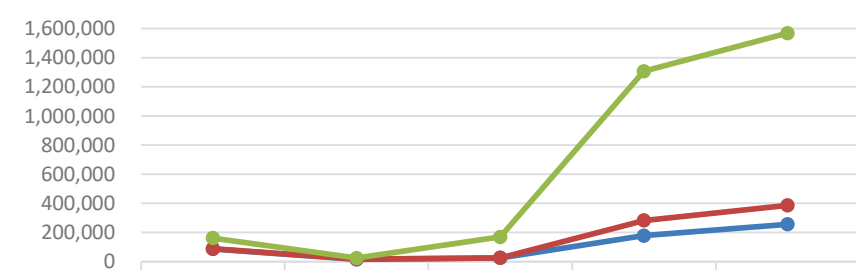
	R2	R3	R4	R5	R6
山形県	3,513,220	3,451,400	4,040,420	4,566,630	4,877,700
岩手県	4,312,000	4,433,530	5,038,930	5,855,350	5,877,210
大分県	4,860,480	4,159,800	6,301,710	7,624,040	8,328,590

平均宿泊数(泊)



	R2	R3	R4	R5	R6
山形県	1.32	1.42	1.42	1.35	1.34
岩手県	1.32	1.29	1.32	1.30	1.30
大分県	1.20	1.17	1.19	1.20	1.24

延べ外国人宿泊者数(人泊)



	R2	R3	R4	R5	R6
山形県	87,440	15,920	25,900	178,790	256,130
岩手県	87,780	17,750	25,640	282,510	386,400
大分県	162,050	25,010	169,630	1,306,940	1,568,820

数値目標・参考管理指標に関するベンチマークの設定について

1 ベンチマークとは

- 「ベンチマーク」とは、本来は「測量において利用する水準点」を示す語であり、転じて、資産運用における指標銘柄や、経営分野における優良他社の戦略や指標等を指す。
- 本件においては、ベンチマークについて、「今後の観光振興施策を推進するにあたり、指標とすべき他の都道府県」と整理するものとする。
- ベンチマークを設定し、本県とベンチマークの比較や分析等を行うことにより、本県における観光振興施策のより効果的な展開が期待されるもの。

2 ベンチマーク検討の流れ

- ベンチマークについては、以下の流れで検討する。

(1)以下の7つの統計指標から、山形県と数値が近似している他都道府県(以下、「類似県」という。)を選定。

- ①総務省「財政力指数(令和2～4年度平均値)」、②総務省「標準財政規模(令和4年度)」、③総務省統計局「総人口(令和2年国勢調査)」
- ④内閣府「県民所得(令和3年度県民経済計算)」、⑤内閣府「1人あたり県民所得(令和3年度県民経済計算)」、
- ⑥内閣府「県内総生産(生産側、名目)(令和3年度県民経済計算)」、
- ⑦内閣府「県内総生産(生産側、名目)のうち飲食・宿泊サービス業分(令和3年度県民経済計算)」

(2) 類似県に関する「延べ宿泊者数」及び「観光消費額」の数値(確認可能な現状値)を整理・確認。

(3)本県の目標値等と比較し、当面、指標として注視すべきベンチマークとなる類似県を設定。

3 検討結果

- 各指標の数値から、**類似県として、青森県、岩手県、富山県、石川県、和歌山県、長崎県、大分県の7県を選定**(数値が近似する指標が相対的に多いため)。

- 上記7県のうち、本県の目標値等を踏まえ指標と整理し得る状況が見受けられる類似県は、**岩手県と大分県の2県が想定**される。

- 岩手県:延べ宿泊者数について、令和5年時点で、本県の目標値(570万人泊)に近似した実績を計上している。
- 大分県:観光消費額について、令和5年時点で、本県の目標値(2,600億円)に近似した実績を計上している。また、計画上の目標値が本県と同一である。

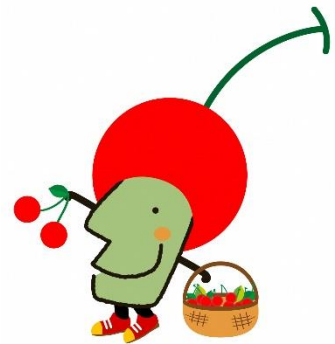
- 以上のことから、**当面、岩手県及び大分県をベンチマークとして設定し、当該県の指標や動向等について分析・研究を進めることとする。**

(参考)類似県の比較一覧

※山形県と数値が近似している箇所を黄緑色に着色している。また、比較の際に注目した数値については太字表記、太線囲み、黄色着色としている。

都道府県	各種統計指標による比較							延べ宿泊者数による比較					観光消費額による比較				
	財政力指数 (3年度平均) (R2～R4)	標準財政規模 (R4)	総人口 (R2国勢調査)	県民所得 (R3)	1人あたり 県民所得 (R3)	県内総生産 (生産側、名目) (R3)	県内総生産 (生産側、名目) のうち飲食・宿泊 サービス業分 (R3)	R1	R5	R5/R1	目標設定		R1	R5	R5/R1	目標設定	
		(千円)	(人)	(百万円)	(千円)	(百万円)	(百万円)	(人泊)	(人泊)	%	年度	目標値	(百万円)	(百万円)	%	年度	目標値
青森県	0.34201	381,388,392	1,237,984	3,489,987	2,858	4,464,610	55,480	4,605,770	4,394,400	95.41%	R10	5,500,000	191,030	190,955	99.96%	R10	200,000
岩手県	0.35368	391,047,741	1,210,534	3,212,487	2,685	4,701,411	57,349	6,276,670	5,855,350	93.29%	R10	8,160,000	165,283	194,564	117.72%	R10	225,630
山形県	0.35964	330,051,143	1,068,027	3,018,333	2,861	4,282,525	50,545	5,571,860	4,566,630	81.96%	R11	6,000,000	223,588	177,189	79.25%	R11	260,000
富山県	0.45346	307,388,299	1,034,814	3,374,457	3,291	4,881,063	55,279	3,807,890	3,933,900	103.31%	R8	4,000,000	148,266	(公表値なし)	—	R8	198,000
石川県	0.48495	312,075,840	1,132,526	3,333,776	2,963	4,680,069	78,676	9,200,650	8,726,180	94.84%	(目標値なし)		318,367	310,707	97.59%	R7	392,900
和歌山県	0.31774	305,574,736	922,584	2,817,925	3,084	3,765,051	59,146	5,324,320	4,626,270	86.89%	(目標値なし)		(公表値なし)	(公表値なし)	—	(目標値なし)	
長崎県	0.33263	389,963,591	1,312,317	3,333,561	2,571	4,620,708	72,552	7,248,850	7,588,930	104.69%	R7	8,910,000	367,814	353,480	96.10%	R7	413,700
大分県	0.37136	333,039,115	1,123,852	3,085,596	2,769	4,683,887	67,140	7,902,700	7,624,040	96.47%	R6	7,830,000	243,743	251,493	103.18%	R6	260,000

今年度の主な取組みについて



■ 取り組みのポイント

1. 山形の強みを生かした滞在型観光や高付加価値な旅行の推進
2. 全ての人にやさしい観光地づくり・DXの推進による観光産業の活性化
3. ターゲットの嗜好に基づく戦略的なプロモーションの推進
4. インバウンド・アウトバウンドの促進による海外との相互交流の促進

1. 山形の強みを生かした滞在型観光や高付加価値な旅行の推進

(1) 『さくらんぼ県やまがた』観光誘客の促進

令和7年度の「やまがたフルーツ150周年」を契機として、インフルエンサーを活用したさくらんぼ狩りを含む観光情報の配信や、ラッピングバスの運行など、さくらんぼを活用した観光誘客の取組みを行い、県内観光地への誘客拡大を図る。



○ 「さくらんぼ県やまがた」観光魅力発信事業

インフルエンサーを活用して、さくらんぼ狩り等と観光地やものづくり、精神文化、朝パフェなどを組み合わせたお薦め観光モデルコースを動画で配信



○ 「さくらんぼ県やまがた」ラッピングバスの運行

高速バスや空港発着連絡バスに「さくらんぼ」をラッピングしてPR

▶運行期間：5/1～7/31

○ 観光果樹園と連携した教育旅行の受入れ

「さくらんぼ」を活用した探究学習プログラムの開発及び教育旅行モニターツアーの受入れ



1. 山形の強みを生かした滞在型観光や高付加価値な旅行の推進

(2) 持続可能な山岳ツーリズムの強化

地球温暖化等の影響を踏まえた蔵王の新たな樹氷鑑賞地のPRや、冬だけではない四季を通じた山岳リゾートとしての蔵王エリアの魅力発信を図る。

○ 四季を通じた山岳リゾートとしての蔵王エリアの魅力発信動画の制作

蔵王坊平側の樹氷や氷瀑、蔵王温泉側での霧氷等といった蔵王温泉側の樹氷以外の冬季コンテンツや、冬期以外の季節における蔵王エリアの魅力を発信する動画を制作。



○ 海外プロモーションの展開

台湾及びタイのインバウンド（個人旅行者）をターゲットとして、冬季の局所的なインバウンド需要を、同時期の蔵王エリアにおける他地域や樹氷以外の蔵王エリア内のコンテンツあるいは冬期以外の季節へ分散・平準化させつつ観光誘客を図るためのプロモーションを展開。



1. 山形の強みを生かした滞在型観光や高付加価値な旅行の推進

(3) やまがた出羽百観音プロジェクト

目的

本県が誇る精神文化の一つとしてのブランドを確立し、次世代に受け継ぐとともに、観光誘客に資する地域資源として活用することにより観光交流人口の拡大を図る。

これまでの分析から見た課題

- 1 団体巡礼の減少と巡礼者の高齢化
- 2 価値観の多様化への対応
- 3 三十三観音の理解度、知名度の低さ
- 4 受入態勢の維持
- 5 三十三観音の連携構築

プロジェクト推進方針

- ◆「やまがた出羽百観音」の「百」が持つ特別感や巡る楽しみを創出
- ◆身近で体験できる精神文化として次世代へ継承することを目指す

事業展開方向

- 1 巡礼文化の振興と地域資源としての活用促進・ブランドの確立
- 2 多様なニーズに対応した魅力ある誘客企画の実施
- 3 全国的な知名度向上のための情報発信の強化
- 4 持続可能な取組みに向けた人材育成と受入態勢の整備



やまがた出羽百観音とは

- ・観音様は詣で祈る人の願いに寄り添い、三十三の姿となってこれを救うとされていることから、三十三か所の観音堂をお参りし二世安楽を願う巡礼が行われた。
- ・県内の最上、庄内、置賜の三つの三十三観音を総称して「出羽百観音」と呼んでいる。

2. 全ての人にやさしい観光地づくり・DXの推進による観光産業の活性化

(1) アクセシブルツーリズム※の推進

○アクセシブルツーリズム受入機運醸成・受入態勢整備

- ・県内観光施設におけるアクセシブルツーリズム対応の充実強化を図るための研修会の開催や、県内観光施設のアクセシブルツーリズム対応状況の発信
- ・宿泊・立寄施設等が行う、多機能トイレへの改修、段差解消、表示の多言語化等への支援



【主なバリアフリーマーク】

○二次交通などの環境改善・向上

- ・銀山温泉と県内観光地を結ぶ広域連携に向けた調査・検討、二次交通モデル事業の実施
- ・東北のハブ空港である仙台空港から本県へのスムーズな移動を可能とするアクセスの充実や交通手段の情報発信



※ 英語の「ACCESSIBILITY（利用しやすい）」に由来し、移動等の困難さに直面する人々のニーズに応えながら、誰もが旅を楽しむことを目指す取り組みのこと。主に国内だけで用いられる類語の「ユニバーサルツーリズム」ではなく、海外（特に欧米）で通用している「アクセシブルツーリズム」を標榜するもの。

(2) 観光DX推進や高付加価値化等の取組みに対する支援

○ 各取組みに対する助成

助成対象者：山形県内の観光事業者（宿泊事業者、観光立寄施設、観光協会 等）

助成対象：①DXの推進に向けた取組み、②高付加価値化に向けた取組み、

③アクセシブルツーリズムの推進に向けた取組み

※観光協会・DMO・DMCが実施する場合、他の事業者と連携したものに限る。

助成率・助成上限額：

区分	助成率	助成上限額 (1事業者当たり)
(1) DXの推進に向けた取組みに要する経費	2/3	100万円 (150万円 ※)
(2) 高付加価値化に向けた取組みに要する経費	1/2	100万円 (150万円 ※)
(3) アクセシブルツーリズム推進の取組みに要する経費	1/2	100万円

※他事業者と連携した取組（面的整備）または、経営力強化等に資する取組で一定の基準を満たす場合、助成上限額を150万円に引上げ。ただし、1事業者あたりの助成上限額は、(1)と(2)を合わせて250万円まで。

【スケジュール】

・申請書提出〆切：令和7年4月30日（6月上旬頃に交付決定）

・事業実施期間：交付決定の日から令和8年1月30日まで

【問合せ先】（公社）山形県観光物産協会



2. 全ての人にやさしい観光地づくり・DXの推進による観光産業の活性化

○ 観光業専門アドバイザーの派遣等による伴走支援

派遣対象者：山形県内の観光事業者（宿泊施設、観光立寄施設、観光協会 等）

派遣対象：①DXの推進に向けた取組み、②高付加価値化に向けた取組み、
③経営改善等に向けた取組み



【1回あたりの支援額（税込）】 原則、最大5回まで利用可能※

支援時間3時間以上：40,000円、3時間未満：30,000円、2時間未満：20,000円

（上記とは別に、旅費（実費相当分）についても支援）

※令和5年度及び令和6年度に利用した事業者は、令和5年度から通算して7回まで利用可能

【スケジュール】

- ・相談受付：令和7年5月12日～令和7年12月26日
- ・アドバイザー派遣：令和7年5月19日～令和8年1月30日



【問合せ先】（公社）山形県観光物産協会

3. ターゲットの嗜好に基づく戦略的なプロモーションの推進

(1) 本県ならではの地域資源×観光DXによる観光誘客・消費拡大の推進

本県が世界に誇る食文化の一つである「ラーメン・そば」等、本県ならではの地域資源を活用し、国内外からの観光誘客やDXによる観光消費額の拡大等を図る取組みを推進。

- 「『ラーメン県そば王国』フェスタ」の開催

県内の特色あるラーメン・そばが一堂に会するイベントを開催



- 「ラーメン県そば王国やまがた」ロゴマークやLINEの活用

令和6年度に公募により作成したロゴマークや、LINE公式アカウント「ラーメン県そば王国やまがたサポーターズクラブ」を活用し、県内のラーメン・そばに関する情報や「ラーメン県そば王国」を国内外に広く発信

- スポーツ等をテーマとした、データ活用による県内周遊の促進

プロスポーツ観戦者の行動・嗜好に関するデータ収集・分析、それらを基にした消費拡大や周遊促進の実証展開



(2) 東京都と連携した観光誘客・プロモーションの展開

東京都と連携し、山形県と東京都の観光資源を生かした周遊施策や効果的な情報発信により、両地域相互での「インバウンドを含む多様な旅行者」の誘致促進や地域経済の活性化を推進。

- 東京と山形の歴史・文化のストーリーに焦点を当てたデジタルスタンプラリーの実施

- 県内観光事業者向けセミナーの開催

外国人旅行者の受入れ経験が豊富な都内事業者が講師となり、外国人のもてなし方等のノウハウを提供

- 各種媒体でのプロモーションの展開

機内誌や女性誌等での記事掲載や、国内外の個人旅行者をターゲットとしたSNSによる情報発信、webメディアへの広告出稿等のプロモーションを実施

3. ターゲットの嗜好に基づく戦略的なプロモーションの推進

(3) 山形県観光情報番組「ワクワク！やまが旅」

地元案内人による案内のもと、**山形県住みます芸人「ソラシド」**のお二人が山形県内の観光スポットを巡り、精神文化、美食・美酒、温泉、自然などとともに、県民の日常の暮らしや風土といった山形の魅力を**“深”発見**する番組です。

放送局	放送曜日	放送時間
テレ玉 (テレビ埼玉)	毎週日曜	8:00～8:15
	毎週金曜 (再放送)	13:00～13:15
YBC(山形放送)	毎週土曜	9:25～9:40
BSよしもと	翌週土曜	8:30～8:45

テレ玉公式YouTubeチャンネル

YBC山形放送公式YouTubeチャンネル

で過去の放送回を配信中！ぜひご覧ください。

▼番組公式X

ワクワク！やまが旅 @yamagatabi2022



ワクワク！やまが旅

検索

3. ターゲットの嗜好に基づく戦略的なプロモーションの推進

(4) 大阪・関西万博における東北共同プロモーション

大阪・関西万博において、仙台市等が行う「東北絆まつりパレード」の出展と連携し、

(一社) 東北観光推進機構及び東北 6 県の共同により、東北の観光や食・伝統文化等の魅力を発信し、国内外からの来場者に対する「東北」の認知度向上及び本県をはじめとする「東北」への誘客促進を図る。



【出展概要】

- ・出展期間：令和 7 年 6 月 13 日（金）～15 日（日）＜3 日間＞
- ・出展主体：(一社) 東北観光推進機構、東北 6 県
- ・出展会場：大阪・関西万博会場内 EXPOアリーナ「M a t s u r i」
- ・出展内容：VR映像やステージアトラクション等による、観光をはじめとする東北の魅力発信 等

4. インバウンド・アウトバウンドの促進による海外との相互交流の促進

(1) 高付加価値旅行者の誘客

○ 山形エリア「雄大な自然と山岳信仰に由来する固有の精神文化」が観光庁のモデル観光地に選定



- 訪日旅行における消費単価が高い高付加価値旅行者（着地消費額100万円以上の訪日外国人旅行者）の地方への誘客を促進
- 集中的に施策を講じるモデル観光地を14地域選定
- ウリ（高付加価値層のニーズを満たす滞在価値）
ヤド（上質かつ地域のストーリーを感じる宿泊施設）
ヒト（ガイド、ホスピタリティ）
コネ（高付加価値層とのネットワーク）
アシ（利便性、快適性の高い移動手段）
の5つの観点により観光地づくり

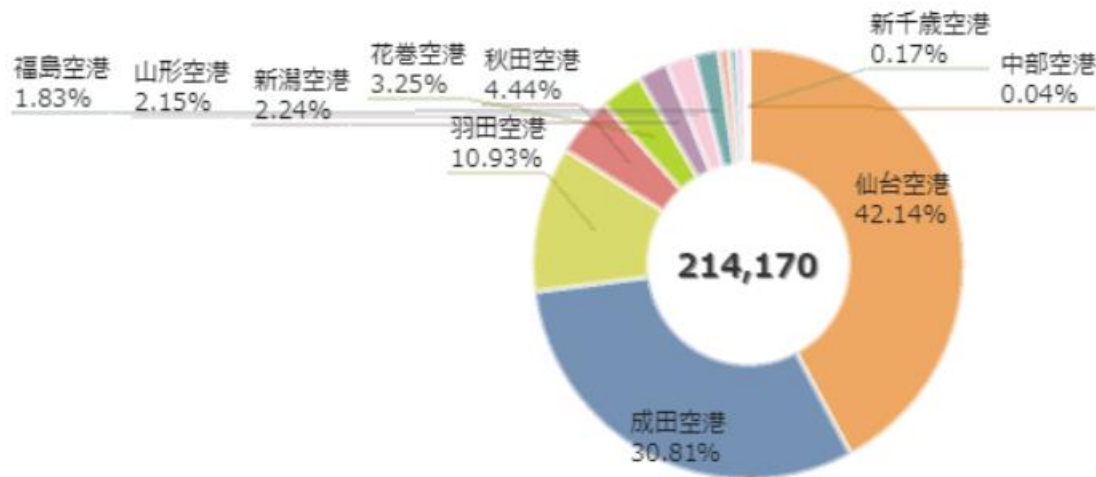
4. インバウンド・アウトバウンドの促進による海外との相互交流の促進

(2) 首都圏や隣県空港からの誘客促進

○ 県外空港から入国する外国人旅行者の誘客促進に向けた取り組み

○山形県に来県した外国人旅行者の入国空港の割合(2024年)

入国空港・港別の来訪回数



【出典】

東北観光推進機構(東北観光DMP)

- 仙台空港からの個人旅行者をターゲットとした海外現地プロモーションの展開
- 東北観光推進機構や隣県と連携した現地旅行博開催やメディア・インフルエンサー、旅行会社招請 等

4. インバウンド・アウトバウンドの促進による海外との相互交流の促進

(3) 県内空港国際便、外航クルーズ船の受入態勢整備



○ 県内空港国際チャーター便の誘致に向けた取組み

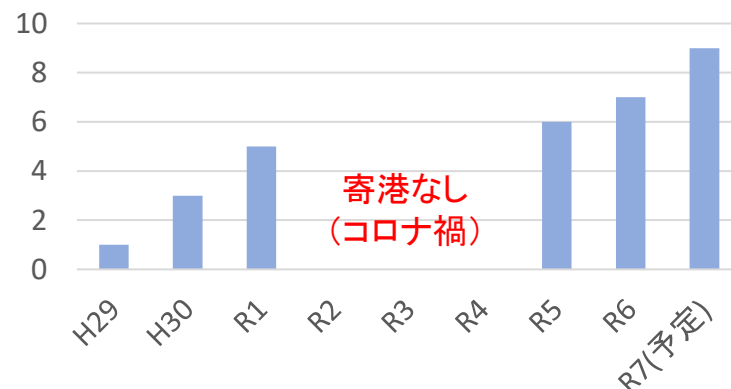
- ・県内空港に発着する国際チャーター便を運航する航空会社に対する着陸料等の支援
- ・県内空港の国際チャーター便を活用した県内宿泊等を伴う旅行商品造成・販売を行う旅行会社に対する助成
- ・現地航空会社・旅行会社へのPR活動やセミナーの開催、現地広告等のプロモーションの展開
- ・関係者が一体となった誘致活動

○ 外航クルーズ船の誘致拡大に向けた取組み

- ・官民一体となった船会社幹部やランドオペレーターの招請など外航クルーズ船の誘致活動
- ・県内消費拡大を伴う受入態勢の構築



酒田港寄港回数



(4) アウトバウンドの促進

- ・県民の海外渡航需要を喚起するためのパスポート取得費用の一部を支援
- ・相互交流の拡大を目的として渡航費用等の一部を支援
- ・国際チャーター便を活用した県民のアウトバウンドの促進

【第3次おもてなし山形県観光計画】令和7年度 主な関係施策の概要

【施策の柱1】

「本物の価値」の追求による稼ぐ力の向上

<重点プロジェクトI>

イン・アウトバウンドも含めた交流人口・関係人口の拡大と高付加価値化

A観光資源・コンテンツ

番号	担当課	事業名	令和7年度 予算額 (9補現計) (千円)	事業概要
1	企画調整課	新博物館検討事業費	24,968	・ 県立博物館の移転整備に係る基本構想検討の推進
2	観光交流拡大課	「さくらんぼ県やまがた」観光誘客促進事業費	7,100	・ 令和7年度の「やまがたフルーツ150周年」を契機とした本県さくらんぼのブランド力を活かした観光誘客事業の展開
3	観光交流拡大課	精神文化ツーリズム推進事業費	3,313	・ 本県の強みである「やまがた出羽百観音」等の精神文化のブランド化に向けたモデル的なコンテンツ造成の支援
4	観光交流拡大課	地域広域観光推進事業費	12,432	・ 総合支庁における地域の広域観光協議会と連携した観光誘客や観光資源の磨き上げ
5	イン・アウトバウンド推進課	高付加価値な観光地づくり推進事業費	19,148の一部	・ 観光消費額の高い訪日外国人旅行者をターゲットにした付加価値の高い観光地づくりの推進
6	園芸大国推進課	さくらんぼを核とした県産フルーツ情報発信事業費	99,254の一部	・ 令和7年度の「やまがたフルーツ150周年」を契機とした、県産フルーツの認知度向上や関係人口・交流人口の拡大に向けた取組みの展開
7	農産物販路開拓・輸出推進課	農林漁家民宿・レストラン人材育成支援事業費	500	・ 農林水産業の6次産業化と農と食による観光交流拡大を図るため、農山漁村において交流拠点となる農林漁家民宿・レストラン開業を担う人材を育成する
8	最上総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業費【再掲】	12,432の一部	・ 「最上地域観光協議会」による観光誘客施策の展開（情報発信、観光売込み、受入企画の実施、受入態勢の整備） ・ 宮城県大崎地域・秋田県雄勝地域と三圏連携した広域的な観光誘客事業の実施
9	村山総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業費（周遊観光推進事業）	12,432の一部	・ 村山地域の旬のフルーツ、ワイナリー・酒蔵等の多彩な観光資源について、若者によるSNS等を活用した魅力発信
10	最上総合支庁観光振興室	高付加価値な観光地づくり推進事業費【再掲】	19,149の一部	・ 「最上地域観光協議会」による観光消費額の高い訪日外国人旅行者をターゲットにした招聘事業の実施
11	置賜総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業（一部）	300	・ 近隣県等との連携強化

12	置賜総合支庁 観光振興室	地域広域観光推進事業（一部）	205	・伊達な置賜四十八館観光活用推進事業
13	置賜総合支庁 観光振興室	観光振興推進事業費（置賜）	1,000	・行政、観光協会、観光事業者等が一体となった置賜地域の広域観光の推進
14	置賜総合支庁 観光振興室	観光振興推進事業費（置賜）	900	・新たな広域観光プロモーション事業の展開
15	庄内総合支庁 観光振興室	観光振興推進事業費（秋田広域連携推進事業）	1,266	・秋田県由利地域振興局との広域連携による環鳥海地域の誘客促進事業、地域情報発信交流の促進
16	庄内総合支庁 観光振興室	観光振興推進事業費（広域観光推進）	900	・庄内観光コンベンション協会による各種観光誘客事業等の効果的な展開
17	庄内総合支庁 観光振興室	観光振興推進事業費（広域観光推進事業）	150	・鳥海国定公園観光開発協議会による観光誘客や点検登山、情報発信など登山の安全対策の推進
18	庄内総合支庁 観光振興室	観光振興推進事業費（地域コミュニティ活性化推進事業）	150	・出羽の古道六十里街道の整備保存とともに、観光誘客及び活力ある地域づくりを推進
19	庄内総合支庁 観光振興室	観光振興推進事業費（魅力ある観光圏形成推進事業）	400	・新潟県北地域との広域連携による日本海羽越エリアへの観光促進事業、受入態勢の整備と羽越本線の活性化を促進

B 情報発信・PR

番号	担当課	事業名	令和7年度 予算額 (9補現計) (千円)	事業概要
1	多文化共生・ 国際交流推進課	国際交流推進事業費	2,725	・山形県と姉妹友好県州締結の海外自治体との交流を実施
2	多文化共生・ 国際交流推進課	留学生受入拡大推進事業費	1,671	・やまがた留学アンバサダーや「やまがた留学ポータルサイト」を活用し、本県や留学生活の魅力を国内外へ情報発信
3	総合交通政策課	航空ネットワーク拡充事業費	55,045 の一部	・羽田空港での利用促進プロモーションイベントの実施 ・イベント、展示会出展等による利用促進プロモーションの実施 ・デジタルサイネージによる空港内での映像コンテンツの配信やデジタルマップによる地域の観光、食の魅力の発信 ・航空乗継利用促進協議会等と連携した乗継利用促進による国内観光誘客の促進
4	みどり自然課	山形の山魅力満点（マウンテン）プロジェクト事業費	34,030	・オオシラビソ林の再生活動拡大に向けた計画づくり ・デジタル技術活用等による「やまがた百名山」の認知度向上と利用拡大 ・登山者と山岳関係団体との環境保全活動（体験ツアー）を通じた交流による関係人口の拡大

5	県産品・貿易振興課	中国ハルビン事務所運営・活動事業費	21,267	・友好県省である黒龍江省への県産品輸出や観光誘客等の経済交流や文化交流等を重点的に促進するための現地活動拠点の運営
6	県産品・貿易振興課	県産品輸出戦略事業費	26,134	・台湾、中国、香港、韓国、ASEANなどへの県産品輸出を促進するための商談会、販売プロモーション、バイヤー招へい等の実施
7	県産品・貿易振興課	県産日本酒輸出促進事業費	26,394	・県産日本酒を中心とした県産品の販路開拓・拡大に向けた海外プロモーションの実施
8	観光交流拡大課	持続可能な山岳ツーリズム強化事業費	7,061	・温暖化等の影響を踏まえた蔵王の新たな樹氷観賞地のPRや、冬だけではない四季を通じた山岳リゾートとしての蔵王エリアの魅力発信
9	観光交流拡大課	やまがた的グリーン・ツーリズム推進事業費	10,429	・農泊や農家レストラン、自然・文化体験等のグリーン・ツーリズム情報の発信、受入態勢の整備等
10	観光交流拡大課	教育旅行推進事業費	18,073	・旅行会社の招請や貸切バス利用への助成、受入態勢の整備等による教育旅行の誘致活動の推進
11	観光交流拡大課	デジタル活用観光誘客事業費	36,707	・「ラーメン県そば王国」に代表される食などの本県ならではの地域資源を活用し、DXにより観光消費額や観光客数の拡大を図る取組みの推進
12	観光交流拡大課	観光誘客総合推進事業費	176,798	・大阪・関西万博における東北6県共同プロモーションの実施【新規】 ・東京都と連携した観光誘客事業の展開や多様な媒体を活用した情報発信による観光PR等
13	観光交流拡大課	観光情報番組放映事業費	31,168	・首都圏等からの観光誘客拡大を図るための観光情報番組の制作及び放映
14	観光交流拡大課	観光キャンペーン推進事業費	29,160	・「やまがたフルーツ150周年」を契機とした周遊企画や観光プロモーションの実施など、官民一体となった誘客拡大に向けた取組みの推進
15	イン・アウトバウンド推進課	高付加価値な観光地づくり推進事業費【再掲】	19,148の一部	・東北観光推進機構や東北6県等と連携した欧米へのプロモーションの実施【新規】
16	イン・アウトバウンド推進課	インバウンド拡大に向けた誘客促進事業費	156,828	・仙台空港からの個人旅行客をターゲットにした海外現地プロモーションの実施【新規】 ・県内空港への国際チャーター便の誘致や本県を周遊・宿泊する旅行商品の造成支援 ・アウトバウンド促進に向けたパスポート取得支援等
17	イン・アウトバウンド推進課	重点市場における現地情報発信強化事業費	44,824	・海外現地観光コーディネーターによる現地情報の収集や本県観光情報の発信などによる重点市場（台湾、中国、香港、韓国、ASEAN、欧米豪）等からの誘客促進
18	イン・アウトバウンド推進課	地域間交流・海外教育旅行推進事業費	2,580	・海外との相互交流の拡大に向けて県内団体が行う国際交流活動への支援 ・海外教育旅行の誘致に向けたプロモーションの展開
19	県民文化芸術振興課	日本遺産魅力発信推進事業費	2,100	・日本遺産「出羽三山『生まれかわりの旅』」及び「山寺と紅花」の総合的な活用・情報発信

20	スポーツ振興課	スポーツ振興・地域活性化推進事業費	7,826	・山形県スポーツコミッションと連携し、スポーツ合宿等の県内への誘致促進やスポーツイベント開催を支援
21	園芸大国推進課	さくらんぼを核とした県産フルーツ情報発信事業費【再掲】	99,254の一部	・令和7年度の「やまがたフルーツ150周年」を契機とした、県産フルーツの魅力発信や各種関連イベント・企画等の情報発信
22	村山総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業費（「山寺と紅花」観光誘客推進事業）	12,432の一部	・日本遺産「山寺と紅花」の歴史や紅花文化の情報発信、紅花関連観光スポットを巡るバスツアーの造成支援
23	村山総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業費（農観連携推進事業）	12,432の一部	・季節ごとの旬の農作物の収穫体験を含む周遊企画や、やまがたフルーツ150周年・さくらんぼ観光等のPRの実施
24	置賜総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業（一部）	53	・旅行エージェントへのセールス活動の実施
25	置賜総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業（一部）	215	・アクティビティ等ATコンテンツ集約化事業
26	置賜総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業（一部）	130	・ランドオペレーター等へのプロモーション活動
27	置賜総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業（一部）	33	・外国人ツアー客のおもてなし
28	置賜総合支庁観光振興室	観光振興推進事業（置賜）	200	・置賜さくら回廊の実施支援
29	置賜総合支庁地域産業経済課	置賜農産物利用拡大推進事業	436	・地域資源を活用した土産品・加工食品の開発支援、食と農の情報発信
30	置賜総合支庁西置賜総務課連携支援室	総合支庁地域政策推進費	124	・西置賜地域資源PRパンフレットによる情報発信
31	庄内総合支庁観光振興室	観光振興推進事業費（豊かな海づくり機運醸成事業）	560	・夏季の海水浴場情報の発信、海の事故防止啓発活動の実施及び豊かな海づくり活動の支援

C環境・インフラ

番号	担当課	事業名	令和7年度 予算額 (9補現計) (千円)	事業概要
1	総合交通政策課	航空ネットワーク拡充事業費	55,045の一部	・庄内空港ビルの機能強化に向けた事業 ・山形空港－庄内空港間や隣県空港（仙台空港・秋田空港・大館能代空港）等との相互利用、空港の片道利用による周遊観光を促進するためのレンタカーの相互乗捨てに対する支援 ・空港からの二次交通利用促進のための支援
2	総合交通政策課	フル規格新幹線整備推進事業費	6,580	・米沢トンネル（仮称）整備の早期事業化及び奥羽・羽越規格新幹線の早期実現に向けて、機運醸成や政府等への要望活動の取組みを推進

3	総合交通政策課	山形新幹線新トンネル整備基金積立金	500,986	・将来の山形新幹線米沢トンネルの整備費用の負担に備え、基金に積み立てを行う
4	総合交通政策課	地域交通総合対策事業費	207,477の一部	・交通情報等のオープンデータの整備・運用、経路検索サイトに掲載するバス運行情報（GTFS-JP）作成・更新のための市町村・交通事業者向け研修会の開催
5	商業振興・経営支援課	商工業振興資金融資事業費（観光振興資金）	223,400	・観光施設等の整備や旅館・ホテルの改修等に必要な資金に係る金融機関への預託を通じた低利融資
6	観光交流拡大課	アクセシブルツーリズム推進事業費	83,000の一部	・国内外から多くの観光客が訪れる銀山温泉と県内観光地を結ぶ広域連携に向けた調査・検討、2次交通のモデル事業
7	観光交流拡大課	中小企業まるっとサポート事業費【産業労働部所管事業】のうち、観光施設等経営強化支援事業	246,191の一部	・観光事業者等が行う観光DXの推進や高付加価値化に向けた取組みに対する助成
8	観光交流拡大課	山岳観光推進事業費	8,874の一部	・「世界の蔵王」プロジェクト事業の展開（2次交通実証事業等）
9	イン・アウトバウンド推進課	国際チャーター便受入環境整備事業費	176,298	・県内空港における国際チャーター便の受入態勢整備のための支援 ・山形空港におけるGSE（空港の地上業務に使用する機材の総称）の整備【新規】

D 受入態勢

番号	担当課	事業名	令和7年度 予算額 (9補現計) (千円)	事業概要
1	総合交通政策課	航空ネットワーク拡充事業費	55,045の一部	・国際チャーター便運航促進のための支援の実施等
2	商業振興・経営支援課	商工業振興資金融資事業費（観光振興資金）	223,400	・観光施設等の整備や旅館・ホテルの改修等に必要な資金に係る金融機関への預託を通じた低利融資
3	観光交流拡大課	DX総合推進事業費【産業労働部所管事業】のうち、観光業専門アドバイザー派遣事業	22,145の一部	・観光事業者のDXの推進や高付加価値化、経営改善等に向けた観光業専門アドバイザーの派遣等による伴走支援
4	イン・アウトバウンド推進課	外航クルーズ船誘客事業費	14,747	・外航クルーズ船の寄港拡大に向けたプロモーションの展開や受入態勢の整備
5	村山総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業費（インバウンド対応力強化支援事業）	12,432の一部	・観光パンフレットやホームページ等の多言語化、インバウンド向け体験型コンテンツの造成等への支援
6	置賜総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業（一部）	180	・おきたま地域観光ボランティアガイド協議会が実施する研修会等への支援
7	置賜総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業（一部）	133	・「学生が考える街歩き事業」の実施

8	置賜総合支庁 建設総務課	越後米沢街道・十三 峠活用整備支援事業	10	・越後米沢街道・十三峠交流会との連携
---	-----------------	------------------------	----	--------------------

【施策の柱2】

「人材×DX」による観光産業の活性化

<重点プロジェクトI>

DXの推進や観光産業を支える人材の育成

A観光資源・コンテンツ

番号	担 当 課	事 業 名	令和7年度 予算額 (9補現計) (千円)	事 業 概 要
1	観光交流拡大 課	デジタル活用観光誘 客事業費	36,707	・「ラーメン県そば王国」に代表される食などの本 県ならではの地域資源を活用し、DXにより観光消 費額や観光客数の拡大を図る取組みの推進
2	観光交流拡大 課	観光連携推進事 業費	94,170	・観光関係団体との連携による本県の広域観光推進 事業の効果的な展開
3	置賜総合支庁 観光振興室	観光振興推進事業費 (置賜)【再掲】	1,000	・行政、観光協会、観光事業者等が一体となった置 賜地域の広域観光の推進

B情報発信・PR

番号	担 当 課	事 業 名	令和7年度 予算額 (9補現計) (千円)	事 業 概 要
1	産業創造振興 課	X R ビジネス創出事 業費	61,932 の一部	・企業向けXR（クロスリアリティ）セミナーの開 催 ・XR技術を活用した新事業展開や高付加価値化 につながる実証事業に対する助成
2	観光交流拡大 課	観光統計強化事業費	6,500	・東北観光DMPによる広域観光データの分析・活 用
3	置賜総合支庁 観光振興室	地域広域観光推進事 業（一部）	156	・置賜観光ポータルサイトによる情報発信
4	置賜総合支庁 観光振興室	地域広域観光推進事 業（一部）	77	・道の駅米沢における「イベントナビカード」の実 施

C環境・インフラ

番号	担 当 課	事 業 名	令和7年度 予算額 (9補現計) (千円)	事 業 概 要
1	商業振興・経 営支援課	商工業振興資金融資 事業費（産業活性化 支援資金）	703,500	・DXの推進などによる生産性向上等の取組みに必 要な資金に係る金融機関への預託を通じた低利融資

2	観光交流拡大課	アクセシブルツーリズム推進事業費	83,000の一部	・宿泊・立寄施設等が行う施設・設備等整備への支援
3	観光交流拡大課	中小企業まるっとサポート事業費【産業労働部所管事業】のうち、観光施設等経営強化支援事業	246,191の一部	・観光事業者等が行う観光DXの推進や高付加価値化に向けた取組みに対する助成
4	置賜総合支庁観光振興室	観光振興推進事業費（一部）	74	・県境案内看板の管理
5	置賜総合支庁建設総務課	次代に繋ぐ土木史跡活用保全事業	988	・「直江石堤」及び「万世大路」の環境整備

D 受入態勢

番号	担当課	事業名	令和7年度 予算額 (9補現計) (千円)	事業概要
1	多文化共生・国際交流推進課	外国人材受入拡大・定着推進事業	27,914の一部	・企業、就職希望外国人のニーズ等に合わせた個別の採用活動・マッチング支援 ・外国人留学生を対象とした合同説明会、企業と留学生等外国人材の交流会の開催
2	観光交流拡大課	DX総合推進事業費【産業労働部所管事業】のうち、観光業専門アドバイザー派遣事業	22,145の一部	・観光事業者のDXの推進や高付加価値化、経営改善等に向けた観光業専門アドバイザーの派遣等による伴走支援
3	イン・アウトバウンド推進課	高付加価値な観光地づくり推進事業費【再掲】	19,148の一部	・県内宿泊施設における外国人材の受入促進等
4	置賜総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業（一部）	45	・情報発信強化のための支援及び検討会の実施

【施策の柱3】

地域一体となったすべての人にやさしい観光地づくり

<重点プロジェクトⅢ>

すべての人々を受け入れるアクセシブルツーリズムの推進

A 観光資源・コンテンツ

番号	担当課	事業名	令和7年度 予算額 (9補現計) (千円)	事業概要
1	水大気環境課	やまがた山水百景魅力アップ事業費	6,114	・優れた湧水を「名水」として選定し、紹介することで水環境保全を推進するとともに、地域おこし、観光資源としての活用につなげる。
2	観光交流拡大課	観光誘客総合推進事業費	176,798の一部	・山形新幹線の長期にわたる大規模な運休に伴い影響を受けた観光業への支援

3	置賜総合支庁 地域保健福祉課	障がい者森林体験事業	73	・障がいがあっても森林の素晴らしさを体感できる 機会の創出。
---	-------------------	------------	----	-----------------------------------

B 情報発信・PR

番号	担当課	事業名	令和7年度 予算額 (9補現計) (千円)	事業概要
1	観光交流拡大課	学会・大会等誘致推進事業費	31,805	・県内で開催されるコンベンション開催経費等に対する支援(※)みらい企画創造部より予算異動
2	置賜総合支庁 観光振興室	地域広域観光推進事業(一部)【再掲】	33	・外国人ツアー客のおもてなし
3	置賜総合支庁 観光振興室	地域広域観光推進事業(一部)【再掲】	156	・置賜観光ポータルサイトによる情報発信

C 環境・インフラ

番号	担当課	事業名	令和7年度 予算額 (9補現計) (千円)	事業概要
1	防災危機管理課	火山防災対策推進事業費	1,918	・火山防災協議会における避難計画の策定や火山防災マップの作成等
2	地域福祉推進課	福祉のまちづくり推進事業費	1,135 の一部	・県内の主要な施設のバリアフリー設備に関する情報の提供
3	観光交流拡大課	アクセシブルツーリズム推進事業費	83,000 の一部	・旅行者の誰もが山形での観光を安全かつ快適に楽しむことが出来るアクセシブルツーリズムの推進に向けた機運醸成及び受入態勢の整備
4	県土利用政策課	やまがたの誇れる景観魅力発信事業費	1,195	・本県ならではの美しい景観の魅力発信、景観を整備保全する県民意識の醸成

D 受入態勢

番号	担当課	事業名	令和7年度 予算額 (9補現計) (千円)	事業概要
1	観光交流拡大課	アクセシブルツーリズム推進事業費	83,000 の一部	・観光施設向けの研修会開催、アクセシブルツーリズム対応状況の発信
2	県民文化芸術振興課	山形県文化芸術交流発信事業費	19,200	・文化芸術団体等との共同による文化芸術鑑賞機会の提供 ・多様な人材の交流や人材育成による新たな文化芸術活動の創出【新規】
3	県民文化芸術振興課	文化による地域への愛着・誇り醸成事業費	2,520	・子どもたちの伝統芸能や文化芸術活動の発表の場の創出

4	県民文化芸術振興課	「未来に伝える山形の宝」登録制度推進事業費	4,243	・地域に残る有形・無形の様々な文化財を保存・活用し、地域コミュニティの活性化や交流拡大につながる取組を行う団体への支援
5	教育政策課	郷土愛を育む活動推進事業	12,818の一部	・小中高生の地域を素材とする探究学習についての実践事例を紹介する特設ページ「郷土Yamagataふるさと探究の広場」の運営
6	生涯教育・学習振興課	伝統芸能育成事業費	3,071の一部	・地域の民俗芸能、伝承文化等を映像で保存・継承するwebサイト「ふるさと塾アーカイブス」運用による国内外への情報発信 ・「ふるさと塾アーカイブス」サイトの国外への発信力強化に資するA Iによる多言語翻訳機能の導入【R7新規】
7	置賜総合支庁観光振興室	地域広域観光推進事業（一部）【再掲】	180	・おきたま地域観光ボランティアガイド協議会が実施する研修会等への支援

観光財源について

1 観光関連の財源などの種類（例）

（１）宿泊税

宿泊者に課税する地方税（法定外目的税）

（２）入湯税

温泉などの入湯者に課税する地方税（法定目的税）

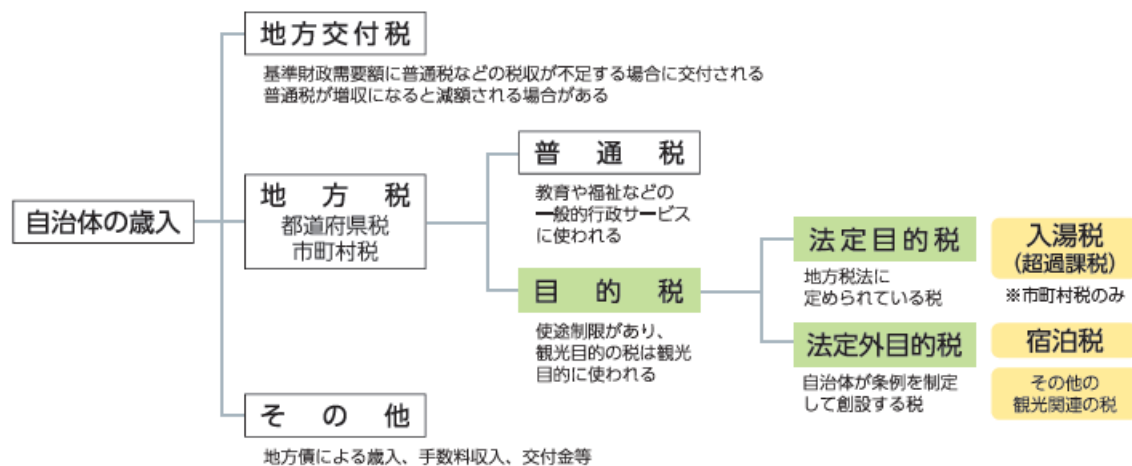
（３）協力金

訪問者から任意で支払いを求める制度

（４）寄付金（ふるさと納税制度）

ふるさと納税制度の仕組みを利用し、観光振興を目的とした寄付金を集める

観光財源となる地方税



（出典：観光庁「観光地域づくり法人（DMO）における自主財源開発手法ガイドブック」）

2 自治体の財源の仕組み

- 自治体が地域から得ている税収である地方税と、国から交付される地方交付税や国庫支出金等で構成。地方税による税収（基準財政収入算出税収に限る）が増えると、その分、地方交付税が減少する可能性があり、税収が増えたとしても、結果的に自治体の収入は増えない場合がある。

⇒新たに観光目的の財源を増やすには、自治体の基準財政収入額の算出と関係しない税収にする必要がある。（宿泊税や、入湯税）

【地方税の種類】

- 地方税には「普通税」と「目的税」があり、普通税は使途が特定されておらず一般的な行政サービスに使われるもので、目的税は特定の目的に使われる税。したがって、観光以外の目的に使われないように観光財源を確保するのであれば、目的税を導入するのが一般的。

3 「宿泊税」の概要

- いわゆる「宿泊税」は、地方税法に定める税目（法定税）以外に、各地方自治体が条例により税目を新設することができる「**法定外税**」のうち、使途が限定される「法定外目的税」に分類される。
- なお、「宿泊税」という名称については、各自治体が条例において裁量を持って設定できるため決められたものではないが、現在導入している自治体が「**宿泊税**」という名称を使用していることから、事実上一般化している。
- 「宿泊税」を含めた法定外目的税を導入するためには、各自治体の議会において条例可決後、総務省に対して協議を行い、同意を得ることが必要。
- 法定外目的税は、地方交付税の算定上、基準財政収入額に算入されないため、純粋に使途目的分野の振興に寄与する。

【宿泊税の主な特徴】

- ・ ホテルや旅館等の宿泊施設への宿泊行為が課税客体（課税単位は宿泊数）。
- ・ 納税義務者は宿泊者。宿泊施設は特別徴収義務者として宿泊者から宿泊代金とは別に特別徴収を行う形が一般的。
- ・ 税額の設定については、概ね以下の3種類に大分。

- ① 宿泊料金如何に関わらず一律の料金を徴収する「**定額制**」
例) 1泊あたり〇〇円 など
 - ② 宿泊料金に応じて定額の徴収料金に段階を設ける「**段階的定額制**」
例) 1万円未満は1泊あたり〇〇円、1万円以上は△△円 など
 - ③ 宿泊料金に一定の率を乗じて税額を算出する「**定率制**」
例) 宿泊料金の〇% など
- ・ 自治体によっては、一定の宿泊料金を基準とした免税点の設定（例：宿泊料金が6,000円未満の場合は免税）や、特定分野の宿泊を課税免除に設定（例：修学旅行における宿泊を課税免除とする）するケースもあり。

4 宿泊税導入に係る他県の動向（令和7年10月末現在）

○ 宿泊税を導入済又は総務省同意済みの団体：42 団体

・都道府県：6 団体（実施済み3 団体）

は東北の自治体

東京都、大阪府、福岡県、宮城県（R8.1～）、広島県（R8.4～）、北海道（R8.4～）

・市町村：36 団体（実施済み11 団体）

京都府京都市、石川県金沢市、北海道倶知安町、福岡県福岡市、福岡県北九州市、長崎県長崎市、北海道ニセコ町、愛知県常滑市、静岡県熱海市、岐阜県高山市、岐阜県下呂市（以上、実施済み）

北海道赤井川村、島根県松江市、青森県弘前市、宮城県仙台市、北海道札幌市、北海道小樽市、北海道釧路市、北海道北見市、北海道網走市、北海道旭川市、北海道帯広市、北海道函館市、北海道富良野市、北海道音更町、北海道占冠村、岐阜県岐阜市、三重県鳥羽市、熊本県熊本市、北海道新得町、北海道留寿都村、栃木県那須町、神奈川県湯河原町、長野県軽井沢町、長野県阿智村、長野県白馬村

・施行団体

自治体		導入時期	税額・税率	
			宿泊料金	税額
都府県	東京都	平成14年10月	1万5千円以上	200円
			1万円以上1万5千円未満	100円
	大阪府	平成29年1月	2万円以上	300円
			1万5千円以上2万円未満	200円
			7千円以上1万5千円未満	100円
	福岡県	令和2年4月	福岡市、北九州市以外	200円
			福岡市、北九州市 ※福岡市、北九州市については、各市において別途宿泊税を設定	50円

・未施行団体

自治体		導入時期	税額・税率	
			宿泊料金	税額
道県	宮城県 (令和6年10月に 条例案可決)	令和8年1月13日 (予定)	6千円以上（仙台市以外）	300円
			6千円以上（仙台市） ※仙台市については、市において 別途宿泊税200円を設定	100円
	北海道 (令和6年12月に 条例案可決)	令和8年4月1日 (予定)	5万円以上	500円
			2万円以上5万円未満	200円
			2万円未満	100円
	広島県 (令和6年12月に 条例案可決)	令和8年4月1日 (予定)	6千円以上	200円
	長野県 (令和7年2月に 条例案可決) 総務大臣協議中	令和8年6月1日 (予定)	6千円以上	300円（制度 開始後3年間 は200円）

（出典：各都道府県のHP）

5 山形市における宿泊税導入の検討状況

- 令和7年10月22日、第1回山形市観光財源検討委員会を開催。
- 令和9年4月からの宿泊税の課税開始を目指し検討する日程案を提示。
- 今後、制度内容や事業者支援策、財源の使途について協議し、市議会令和8年3月定例会に関連条例案を提出する計画。
- 令和7年11月7日、第2回山形市観光財源検討委員会を開催し、「定率制3%」とする方向性を確認。
- 平均宿泊単価が10,000円の場合、収入見込額は約2.5億円
※実際は、免税点（例：1泊6,000円未満）、課税免除（例：修学旅行者）による金額を除いた額が収入となる。さらに、税システム改修費用等も見込まれる。

参考：県も同様の税率で宿泊税を導入した場合の収入見込み額

（山形市との調整を考慮せず、市とは別に単純に上乗せした場合）

県：500万人泊×10,000円×3%=15億円

※実際は、山形市との調整（山形市宿泊分は税率を下げる）や、以下免税点、課税免除、により、約4.7億円以上を除いた額が収入となる。さらに、関連費用として数千万の費用が見込まれる。

○ 控除額の想定

【免税点（例）：1泊6,000円未満】

県内宿泊者数の30%（150万人）と試算：▲4.5億円

【課税免除（例）：修学旅行者など】

8万人が対象と推計：▲0.24億円

【関連費用（例）】

- ・周知広告費（説明会、ポスター、事業者周知物品）
- ・税システム改修費
- ・特別徴収義務者交付金

6 【参考】宿泊税導入（予定含む）自治体における使途

自治体名	事業名等・取組内容（例）
東京都	Wi-Fiやデジタルサイネージなどの利用環境の整備
	観光案内所（都内5箇所）設置・運営
	観光公式ガイドブック「東京トラベルガイド」発行
大阪府	多言語対応の強化・観光バス等の駐車場の整備
	公共交通機関と連携した旅行者のシームレスな移動の促進
	MICE誘致の推進
福岡県	宿泊施設の多言語案内・情報発信、バリアフリー化等に対する支援
	インバウンド向け体験プログラムを含む旅行商品造成支援
	地域資源を活用した新たな観光資源開発、観光スポットの受入環境整備
宮城県	旅行者が快適に滞在するための、受入環境の整備を推進
	宮城県内隅々まで楽しむための、観光地間の交通アクセス環境の向上
	地域の食・自然・歴史文化などを生かした、宮城県ならではの観光地域づくり
北海道	観光の高付加価値化
	観光サービス・観光インフラの充実・強化
	危機対応力の強化
広島県	周遊促進や宿泊・滞在時間の増加など、観光消費額を高めるための取組の拡充・強化
	外国人を含めた観光客への対応、観光関連事業者の人的リソース不足対策

（出典：各都県のHP）

7 国際観光旅客税

- 観光先進国の実現に向けた観光基盤の拡充・強化を図るための財源を確保する観点から、国際観光旅客等の出国1回につき1,000円を徴収。

納税義務者	航空機又は船舶により出国する一定の者（国際観光旅客等）
税率	出国1回につき1,000円
徴収・納付	①国際旅客運送事業を営む者による特別徴収 ➢ 国際旅客運送事業を営む者は、国際観光旅客等から徴収し、翌々月末までに国に納付 ②国際観光旅客等による納付（プライベートジェット等による出国の場合） ➢ ①以外の場合、国際観光旅客等は、航空機等に搭乗等する時までに国に納付
使途	令和7年度予算額：490億円 ①ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備（145億円） ②我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化（82億円） ③地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度向上（263億円） ➢ 外国人観光旅客の来訪の促進等による国際観光の振興に関する法律（平成9年法律第91号）に基づき、上記の3つの分野に国際観光旅客税の税収を充当することとされている。
適用時期	平成31年1月7日以後の出国に適用

（出典：財務省HP）

- 日本を訪れる外国人客の地方誘客やオーバーツーリズム対策費捻出のため、金額の引き上げが議論されている。

8 その他の観光財源の例

(1) 入湯税

- 地方税法に規定される法定目的税であり、市町村が入湯客に対して課すもの。法律上で定められた使途として「観光振興」も位置付けられていることから、観光財源に活用している自治体も多い。
 - さらに、近年では標準税率（1人1日 150 円）を上回る税率を条例で定めて適用する「入湯税超過課税」が注目されており、この標準税率との差額を新たな観光目的の財源として活用しているところもある。
- ⇒上山市が令和8年4月から入湯税を2倍に引き上げ。インバウンドを含めた観光誘客を推進する財源などに税収を活用予定。

(2) 協力金

- 観光地を訪れる旅行客に対して環境保全や施設の維持管理といった使途を示した上で、そのための負担を求めるもの。法令上の根拠は必要なく、その柔軟性から様々な協力金が存在。

(例1) 羽黒山「入域協力金」

金額：500円～

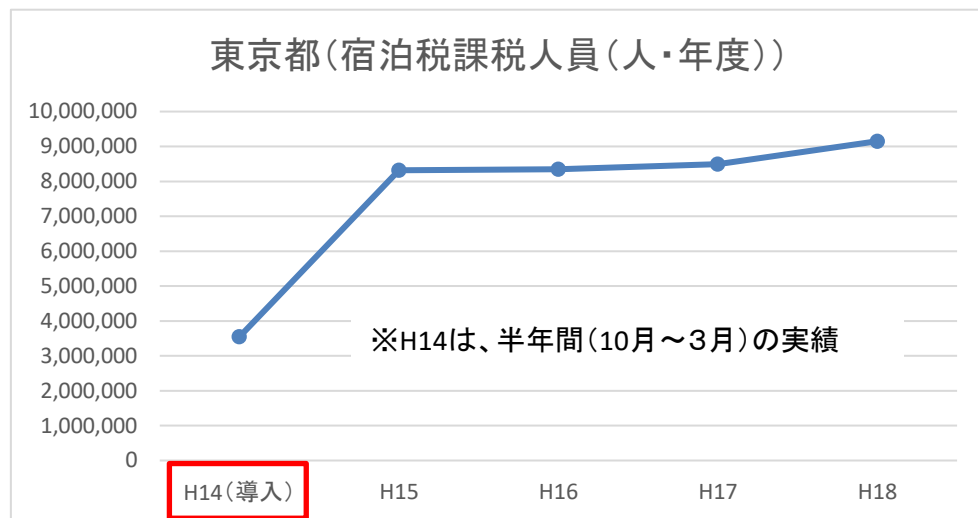
目的：歴史及び文化の継承と環境の保全、それらを活用したまちづくりの支援

(例2) 銀山温泉「入域料」の検討

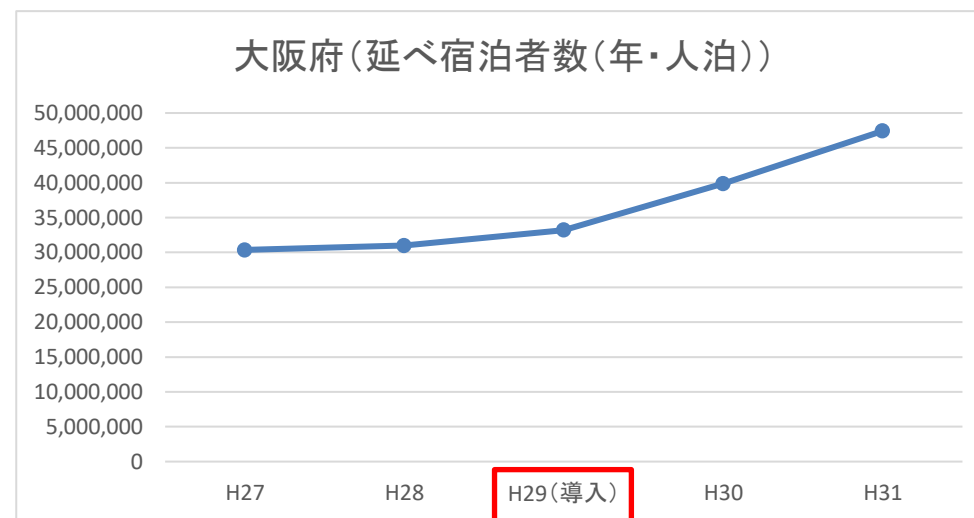
持続可能な観光地域形成に必要な財源確保のため、地域の実情や特性（温泉街は山あいの突きあたりに位置している）を踏まえて、様々な手法について検討

宿泊税導入後の宿泊者数の推移

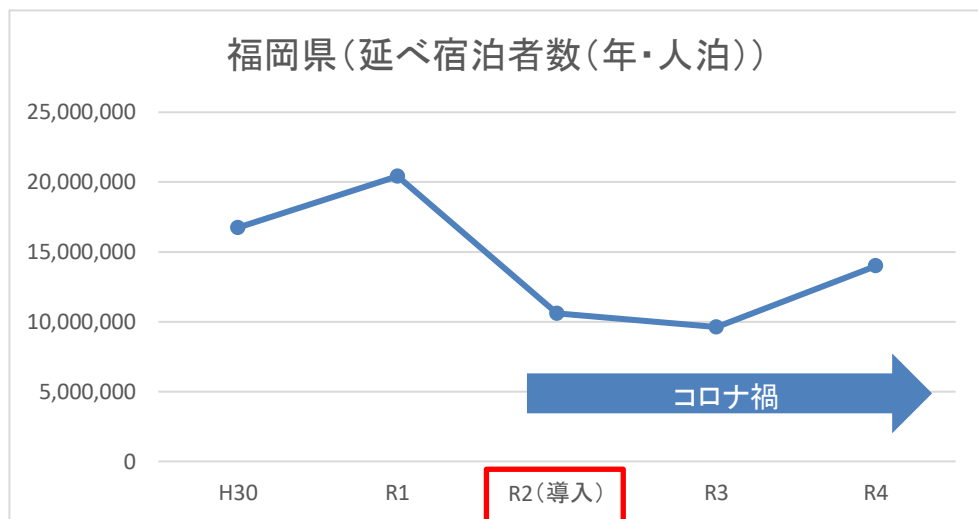
資料4-1-2



(出典)東京都主税局



(出典)観光庁



(出典)観光庁

＜各自治体の宿泊税の導入時期と、その後の推移＞

○東京都:平成14年10月

宿泊税導入後も宿泊税課税人員は増加傾向

○大阪府:平成29年1月

宿泊税導入後も宿泊者数は増加傾向

○福岡県:令和2年4月

コロナ禍の影響もあり、導入の翌年(令和3年)は宿泊者数は微減したものの、令和4年には導入年(令和2年)を上回った

⇒宿泊税の導入を原因とした宿泊者の明らかな減少はみられない